I-O DATA

ATAPI対応 ファイルベイ用
DVD-RAMドライブ
（両面9.4GB/片面4.7GB）

DVDRM-AB9.4G

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

73783-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

DVDRM-AB9.4G 取扱説明書
2000.Sep.08 73783-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにＶｅｒシールをお貼りください

Ｖｅｒシール

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになれば、大容量DVD-RAMディスクにデータを記録したり、DVD-ROMのデータを読み込んだりすることができます。また、音楽CDを聴いたり、パソコンにCD-ROMのデータを読み込んだりすることもできます。

呼び方

Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Editionの総称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows 98/95	Windows 98およびWindows 95の総称

本製品の特徴

■DVD-RAMリード、ライト時：２倍速（2,770Kバイト/秒）

■DVD-ROMリード時：最大6倍速（8,310Kバイト/秒）

■CD-ROMリード時：最大24倍速（3,600Kバイト/秒）

■DVD-ROM、DVDビデオ ※ に対応（2層ディスクにも対応）

※ DVDビデオを再生する場合は、本製品添付の「PowerDVD 2000」などのソフトDVDプレーヤーまたは弊社製「GV-DVD2/PCI」が必要です。

■電動トレイ方式採用

電動トレイによるフロントローディング方式のイージーオペレーション。

■縦置き可能（12cmディスクのみ使用できます）

■8cmCD対応、音楽用シングルCDも再生可能

8cmCDアダプタは必要ありません。

■最大24倍速でオーディオキャプチャが可能

添付の「CD Player」のオーディオキャプチャ機能を使用すれば、最大24倍速でオーディオキャプチャが可能です。

■マルチリード対応

CD-RディスクやCD-RWディスク、パケットライト記録済みのディスク ※ の読み込みが可能。

※DirectCD Ver.2のランダムアクセスライト記録済みメディアを除く。
（Adaptec社の「DirectCD UDF Reader」を使用すれば読むことができます。
「DirectCD UDF Reader」はCD-RディスクおよびCD-RWディスク専用です。
詳細に関しては、以下をご覧ください。）
「http://www.adaptec.co.jp/download/index.html」

DirectCDで書き込んだCD-RディスクやCD-RWディスクを本製品で読めるようにするには、DirectCD書き込み後の取り出し処理を行う際に「CD-ROMドライブで読み込めるようCDを構成します。」をチェックして取り出す必要があります。また、DirectCD バージョン2.0以降でCD-RWディスクに書き込んだ場合は、上記の「DirectCD UDF Reader」のインストールも必要です。

■豊富な添付ソフト

●動画を編集しよう！「日本語版 Ulead VideoStudio 4.0 MPEG2（S） SE」

・MPEG-2ファイルの編集/作成が可能
MPEG-2ファイル編集によりDVD品質のビデオファイルを作成しながら、ファイルサイズを圧縮することができます。

・CDやインターネットから取り込んだ音楽を使用可能
MP3ミュージックファイルや、ミュージックCDから直接トラックを取り込んで、B.G.Mとして使用することができます。

●静止画を加工しよう！「日本語版 Ulead PhotoImpact 5.0 BE」

・Webグラフィックスの作成手順をガイドしてくれるウィザード「コンポーネントデザイナー」搭載
800種類以上にも及ぶテンプレートを使用してWebコンポーネントを作成することができます。

・膨大な量のイメージもPhotoImpactAlbumを使えばサムネイルにして整理することが可能

●データ管理はおまかせ！「日本語版 Ulead PhotoExplorer 5.0」

画像の入っているフォルダを指定するだけでフォルダ内の全画像データのサムネイル（簡易画像）を瞬時に自動生成することが可能。リムーバブルディスク内の画像データを一発で探すことができます。

ユーリードシステムズ㈱製品のお問い合わせについては96ページをご覧ください。

●映画をみよう！「PowerDVD 2000」

※本製品には、DVDビデオは添付しておりません。

・「おきにナビ」機能搭載
再生中のお気に入り場面をブックマークで保存すれば、いつでもそのシーンから鑑賞できます。

・DVDビデオ（MPEG-2）およびビデオCD（MPEG-1）再生をサポート
サウンド面でもMP3、ドルビーAC-3、DTSなどの多彩なフォーマットの再生に対応。

・スクリーンキャプチャ機能搭載
映画のシーンを静止画ファイルや壁紙として保存可能です。

ソフトウェアDVDプレーヤー「PowerDVD 2000」を使用する場合は必ずPowerDVD 2000 クイックガイドをご覧ください。
「PowerDVD 2000」のお問い合わせについては、97ページをご覧ください。

●CD-ROMドライブ用高機能ユーティリティ添付

※本製品には、Photo CD、音楽CDは添付しておりません。

◇CD Player

1. 音楽CDの再生
お手持ちの音楽CDを再生。通常再生はもちろん、トラックサーチ（曲の頭だし）やリピート再生も可能です。

2. オーディオキャプチャ機能
音楽CD上のオーディオトラックをWAVEファイルに変換します。

◇フォトCDビューア

Photo CDの再生ソフト。表示データの簡単な編集、他の画像フォーマットへの変換、スライドショーなどが楽しめます。

◇CDセレクト

CD-ROMドライブに入っているCDメディアの種類を自動的に判別して、最適なプレーヤーやビューアを起動します。

この説明書の読み方

以下の流れに沿って、必要な個所をお読みください。

第1章 **取り付け前の準備**

本製品を取り付ける前の準備を行います。

第2章 **使えるようにしよう**

「取り付け方法～ドライバソフトのインストール」まで、
本製品が使用できるようにセットアップします。

第3章 **基本操作**

本製品の基本操作を説明します。

付録

用途に応じてお読みください。

第1章 取り付け前の準備 ・・・・・・・・・・・・・・・ 1
1．箱の中を確認しよう ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2．ユーザー登録をしよう ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
3．各部の名称・機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
4．動作環境の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
5．注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

第2章 使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・ 15
1．スイッチを設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
2．パソコンに取り付ける ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
3．インストールする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

第3章 基本操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
1．ディスクの取り扱い方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
2．DVD-RAMディスクのフォーマット ・・・・・・・・・ 39
3．データを書き込む ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
4．データを読み込む ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45

付録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47

サービス品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
動画を作成する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
その他の機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
音楽CDを聴く/Photo CDを見る・・・・・・・・・・・・・・・ 65
困った時には ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95

VideoStudio 4.0 MPEG2 (S) SE,PhotoImpact 5.0 BE,
Photo Explorer 5.0のお問い合わせ・ 96
PowerDVD 2000のお問い合わせ ・・・・・・・・・・・・ 97
サポートセンターへのお問い合わせ・・・・・・・・・・ 98
サポートソフトのバージョンアップ・・・・・・・・・・ 99
保証について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
修理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101

コラム

IDE機器の基礎知識・・・17
本製品で音楽CDを聴く場合・・19
ファイナライズ ・・・33
DVD-RAMディスクの種類・・・37
UDF・・39
ドラッグ＆ドロップ・・・44

第1章

取り付け前の準備

この章では、本製品をパソコンへ取り付ける前の準備について、順を追って説明しています。

1．箱の中を確認しよう　2ページ

箱の中身を確認します。

内容物……2
別売オプション……5

2．ユーザー登録をしよう　6ページ

ユーザー登録を行います。

①弊社ユーザー登録……6
②ユーリードシステムズ(株)ユーザー登録……7
③サイバーリンク(株)ユーザー登録……7

3．各部の名称・機能　8ページ

本製品の各部の名称と機能を確認します。

4．動作環境の確認　10ページ

本製品に必要な動作環境を確認します。

5．注意事項　13ページ

本製品を使用する際の注意事項です。

１．箱の中を確認しよう

ご使用の前に以下のものがそろっていることを □ にチェックをつけながらご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

・箱/梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。
・イラストは若干異なる場合があります。

内容物



□ **DVD-RAMドライブ（1台）**



□ **オーディオケーブル（2本）**

コネクタの色が「白⇔白」、「白⇔青」の2種類あります。



□ **取り付けネジ（４個）**



□ **DVD-RAMディスク（1枚）**
[4.7GB Single Sided TypeⅡ]

●添付ソフトウェア

《サービス品》 と表記されているものは、弊社ではサポート致しかねます。
あらかじめご了承ください。（ **《サービス品》** の詳細は**48**ページ参照）



☐ **DVDRMツールズコレクション**
（CD-ROM：1枚）

▼内容
・ドライバソフト/フォーマッタ
・Photo Explorer 5.0 **《サービス品》**
・PowerDVD 2000 **《サービス品》**

「PowerDVD 2000のCD-KEYシール」無くさないよう、大切に保管してください。



☐ **DVDRM-ABシリーズサポートソフト**
（フロッピーディスク：1枚）

▼内容
・ユーティリティ
※このユーティリティをインストールしなくても本製品は使用できます。



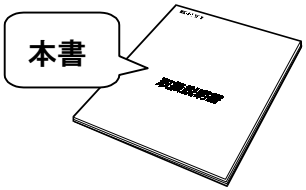
☐ **VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SE**
（CD-ROM：1枚）《サービス品》

ケースの裏面に「シリアルNo.」があります。無くさないよう、大切に保管してください。



☐ **PhotoImpact 5.0 BE**
（CD-ROM：1枚）《サービス品》

●その他



☑ DVDRM-AB9.4G取扱説明書



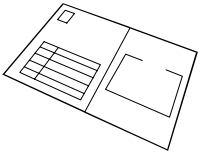
☐ PowerDVD 2000クイックガイド



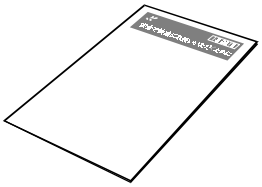
☐ ハードウェア保証書



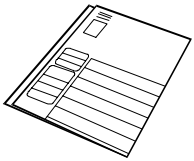
☐ ハードウェアシリアルNo.シール



☐ Photo Explorer 5.0
ユーザー登録カード



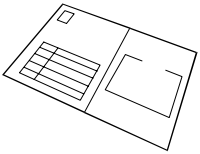
☐ 『安全で快適に
お使いいただくために』



☐ ユーザー登録カード

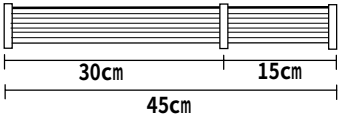
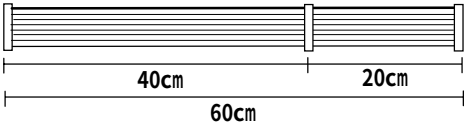
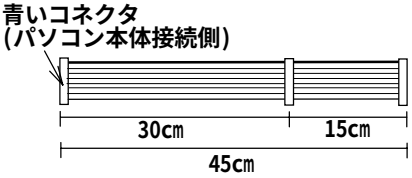
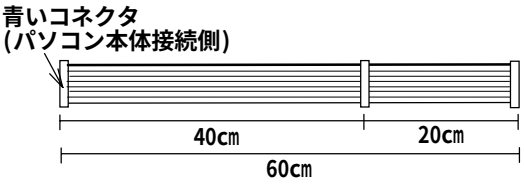
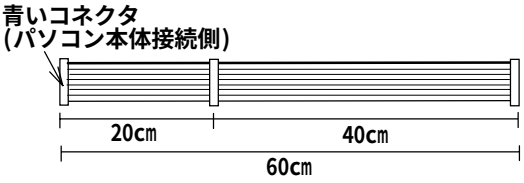


☐ Verシール



☐ VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SE
PhotoImpact 5.0 BE共通
ユーザー登録カード

別売オプション

型番	長さ	タイプ
FL-I40 ※1	45cm	Ultra DMA/33対応IDEフラットケーブル 
FL-I40-L ※1	60cm	Ultra DMA/33対応IDEフラットケーブル 
FL-I40H	45cm	Ultra DMA/66対応IDEフラットケーブル ※2 
FL-I40H-L	60cm	Ultra DMA/66対応IDEフラットケーブル ※2 
FL-I40H-L2	60cm	Ultra DMA/66対応IDEフラットケーブル ※2 

※1 Ultra DMA/66には非対応。
※2 本製品はUltra DMA/66には非対応。

2．ユーザー登録をしよう

弊社では、サポートセンターでソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っておりますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録を行ってください。
３種類（①～③）のユーザー登録を行います。

① 弊社ユーザー登録

（DVDRM-AB9.4G用）

1 添付のVerシールを貼ってください。

ユーザー登録カード、「サポートソフト」ディスクの「Verシール」と書かれている欄、本書の巻末に貼ってください。

2 添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼ってください。

ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

3 オンライン登録する場合（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/）

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。
I-O DATA ホームページに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入して、ユーザー登録を行ってください。
オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

ハガキで登録する場合

ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

ユーザー登録カードによる登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

② ユーリードシステムズ㈱ユーザー登録

（「VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SE、PhotoImpact 5 BE 共通」および「Photo Explorer 5.0」　用）

「VideoStudio 4.0 MPEG2（S） SE、Photo Impact 5 BE共通ユーザー登録カード」および「Photo Explorer 5 SEユーザー登録カード」に、必要な事項をご記入の上、ユーリードシステムズ㈱まで必ずご返送ください。

- **ユーザー登録の際、必要事項のご記入もれがあった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。**
- **ユーリードシステムズ㈱では、ユーリードシステムズ㈱製品のバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。**
- **ユーリードシステムズ㈱製品に関するお問い合わせについては96ページをご覧ください。**

③サイバーリンク㈱ユーザー登録

（PowerDVD 2000用）

PowerDVD 2000クイックガイドをご覧になり、ユーザー登録を行ってください。

- **ユーザー登録の際、必要事項のご記入もれがあった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。**
- **サイバーリンク㈱では、PowerDVD 2000のバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。**
- **「PowerDVD 2000」に関するお問い合わせについては97ページをご覧ください。**

3．各部の名称・機能

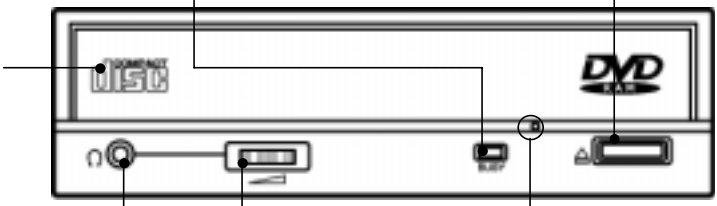
各部の名称および機能の確認を行います。

●前面

BUSY

アクセス中や書き込み中に
点灯します。

トレイの出し入れを
行います。（30ページ参照）



ステレオミニプラグ付き
のヘッドホンを接続します。

ディスクを取り出せなくなった場合に
使用します。（35ページ参照）

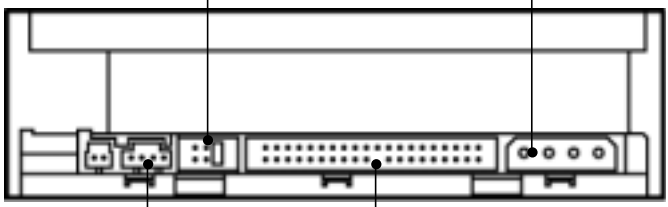
ヘッドホン端子に接続したヘッドホンの音量を
調節します。右へ回すと音量が上がります。

BUSYランプの点灯中には、絶対にパソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

●背面

機器の接続状況により設定を
行います。（16ページ参照）

パソコン本体の電源
ケーブルを接続します。



添付のオーディオケーブルを使用して
パソコン本体やサウンドカードと接続
します。
パソコンの機種によっては使用しない
場合があります。

IDE

パソコン本体のIDEコネクタと接続
するためのケーブルを接続します。

本製品は、AUDIO OUT（デジタル）端子は搭載しておりません。

４．動作環境の確認

本製品の動作環境を確認します。

● 対応機種・OS

対応機種	対応OS
PCIバス搭載の **NEC PC98-NXシリーズ**	Windows 98 (Second Edition含む) Windows 95(OSR2以降)
CPU Pentium 100MHz以上でPCIバス(2.1)搭載の **DOS/Vマシン** **弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っております。**	Windows 98 (Second Edition含む) Windows 95(OSR2以降)

・本製品は5インチベイ(拡張ストレージベイ)搭載タイプです。ベイに空きがない場合は、あらかじめ搭載済みのドライブを取り外す必要があります。
・取り付け後、フロントパネルが操作できなくなる機種ではご使用いただけません。

●Ulead VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SE動作環境

本製品に添付のUlead VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SEを使用する際は、さらに以下の環境が必要です。

対応機種	CPU Pentium 166MHz以上の NEC PC98-NXシリーズ DOS/Vマシン （ただし、MPEGファイルへの変換には、MMX Pentium以上が必要です。）

Ulead VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SEはサービス品です。弊社ではサポート致しかねます。ユーリード製品のお問い合わせは96ページをご覧ください。

●PowerDVD 2000動作環境

本製品に添付のPowerDVD 2000を使用する際は、さらに以下の環境が必要です。

対応機種	NEC PC98-NXシリーズ DOS/Vマシン (Windows 98/95の場合) CPU Intel Pentium Ⅱ 266MHz以上/Pentium Ⅲ Celeron 300A以上 AMD K6-2 350MHz以上/Athlonプロセッサ

「PowerDVD 2000」はサービス品です。弊社ではサポート致しかねます。
「PowerDVD 2000」のお問い合わせは97ページをご覧ください。

●推奨ビデオキャプチャ製品

弊社製 GV-MPEG2シリーズ、GV-DVCシリーズ、GV-BCTVシリーズ、
GV-VCPシリーズ、MPGシリーズ、USB-MPG、USB-CCD、USB-CAPシリーズ、
PCCAP

上記のビデオキャプチャ製品でキャプチャした動画を、直接DVD-RAMに書き込むことはできません。いったんハードディスクなどに保存してから、DVD-RAMに書き込む必要があります。キャプチャ方法については、各製品に添付のソフトウェアをご利用ください。

●推奨MPEG2デコーダボード

弊社製 GV-DVD2/PCI

● 対応ディスク

・DVD-RAM（両面9.4GB/片面4.7GB、両面5.2GB/片面2.6GB書き込み可能）
・DVD-ROM
・DVD-R（3.95GBディスク Write At Onceの読み込みのみ可能）
・CD-ROM
・CD-R
・CD-RW
・CD-DA（音楽CD）
・DVDビデオ
・ビデオCD
・Photo CD
・CD Extra
・CD TEXT

5．注意事項

本製品添付の『安全で快適にお使いいただくために』もあわせてご覧ください。
また、サポートソフト内の「README.TXT」を必ずご覧ください。

●本製品を取り付ける際の注意

・本製品を取り付ける場合は必ずパソコン本体の電源を切ってください。

・パソコン本体内部は金属片がむき出しになっている場合があります。手などにけがをしないよう、十分注意して作業を行ってください。

・他のケーブルや電源部、基板などは触らないようにしてください。

・ネジやクリップなどを誤ってパソコン内部へ落とさないでください。

・ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクタを持って抜いてください。

●使用する際の注意

・内部のレーザー光線を直視すると障害を起こす恐れがあります。内部を覗きこまないでください。

・本体内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。また、本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。

・パソコンは水平な場所でご使用ください。傾いた状態で本製品を使用すると、ディスクなどを取り出すときに落下するおそれがあります。

・本製品を取り付けた後、パソコン本体を移動する場合は、セットされているディスクを抜いてから移動してください。

・レンズには触れないでください。音とびやデータの書き込み・読み込み時の不具合の原因になります。

市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

・ヘッドホンの音量を上げすぎないでください。大きな音量で使用すると、聴力に悪影響を与える原因となる恐れがあります。

5．注意事項

・本製品をパソコンに取り付ける前に、スチール製のキャビネットの金属部分などに触れて、静電気を逃がしてください。静電気によって、本製品やパソコンの部品が壊れてしまう場合があります。

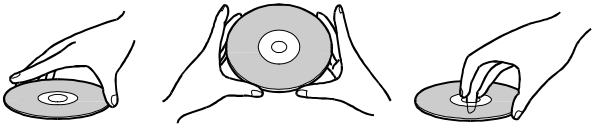
●ディスクの取り扱いについて

■DVD-RAMディスクについて

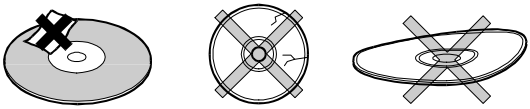
・カートリッジの中に、異物を入れないでください。
・ディスクを挿入するときは、トレイを下に強く押さないでください。

■CD-ROMなどのディスクについて

・ディスクを直接持つときは光沢のある場所に触らないようにしてください。両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。



・正しい再生をするためと、振動や回転音が大きくなるなどのトラブルを防ぐため、ディスクに紙やシールなどを貼らないでください。
・ひびの入ったディスクや反ってしまったディスクは絶対に使用しないでください。また、割れたディスクをテープ類や接着剤で貼りあわせて使用しないでください。高速回転しますので、欠陥のあるディスクは危険です。



・指紋・油・ゴミなどを付けないでください。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で内側から外側に向けて吹いてください。
・熱を加えないでください。
・表面を傷つけないようにケースからの出し入れにはご注意ください。

●本製品の修理は弊社修理センターにご依頼ください。

・詳細は101ページの【修理について】をご覧ください。

第2章

使えるようにしよう

この章では、本製品をパソコンへ取り付ける方法について順を追って説明しています。

1．スイッチを設定する

16ページ

接続する前に、本製品のスイッチを設定します。

2．パソコンに取り付ける

19ページ

本製品をパソコンに取り付けます。

用意するもの…… 19
取り付け…… 20

3．インストールする

24ページ

DVD-RAMドライブ機能を使用するために必要なソフトウェアのインストールを行います。

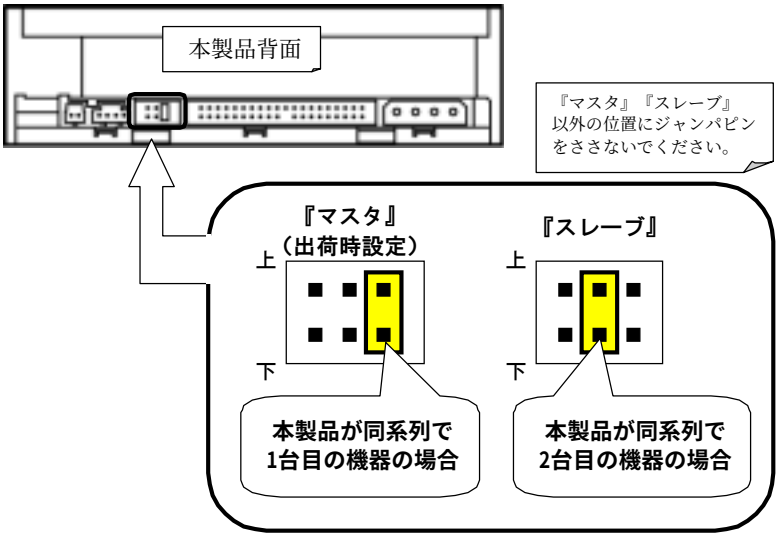
インストール前の確認…… 24
インストール…… 25

１．スイッチを設定する

本製品には、背面にジャンパスイッチがあります。本製品を取り付ける位置によりジャンパスイッチの設定変更を行います。本製品のパソコンへの取り付けの前に、ご使用の環境に合わせて各ジャンパスイッチを設定してください。

●ジャンパスイッチを設定する

本製品を『スレーブ』または『マスタ』（出荷時設定）のどちらかに設定します。【IDEの基礎知識】（次ページ）をご覧になり、本製品を取り付ける場所が決まったら設定してください。



PC98-NXシリーズをご使用の場合のご注意

セカンダリスレーブ(次ページ図ＡのIDE機器４)に接続するとパソコンが正常に起動しない場合があるので、本製品をプライマリスレーブ(図ＡのIDE機器２)またはセカンダリマスタ(図ＡのIDE機器３)で使用してください。

設定後、19ページへお進みください。

IDEの基礎知識

●本製品はIDE機器としてパソコン本体に接続します。

・パソコンに接続できるIDE機器数は最大4台まで

パソコン本体には、

『プライマリ』（PRIMARY） →IDE1の場合があります。

『セカンダリ』（SECONDARY） →IDE2の場合があります。

の2つのコネクタがあります。

『プライマリ』『セカンダリ』のそれぞれに、IDEフラットケーブルを使用して、

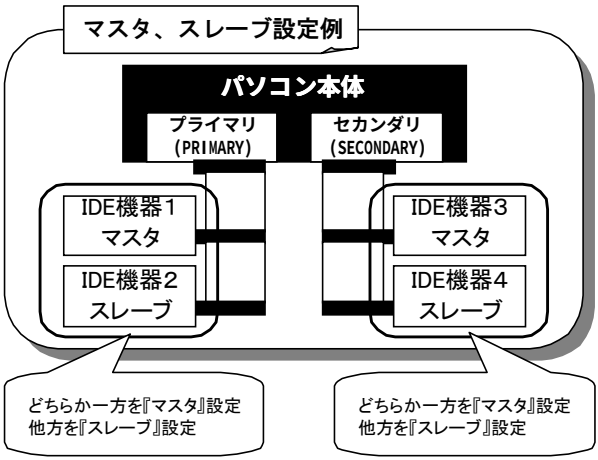
『マスタ』（MASTER）

『スレーブ』（SLAVE）

の2台づつ、計4台までのIDE機器を接続することができます。

例えば、『プライマリ』に2台のIDE機器を接続する場合、一方を『マスタ』にもう一方を『スレーブ』に設定して接続する必要があります。（図A参照）

▼図A



●IDEフラットケーブルについて

IDEフラットケーブルには、

1ドライブ用（IDE機器1台接続）

2ドライブ用（IDE機器2台接続）

があります。

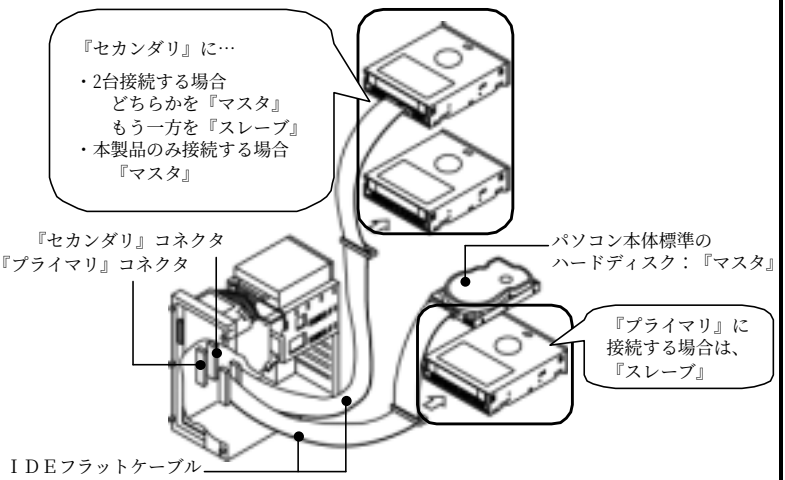
パソコン本体に付属のIDEケーブルが短い場合や、1ドライブ用から2ドライブ用に変更したい場合は、別途弊社オプションケーブルをご購入ください。

（オプションケーブルについては、5ページ参照）

●接続例

一般的なパソコンでの接続例です。

空いているコネクタに接続するか、既存のCD-ROMドライブなどと交換してください。



２．パソコンに取り付ける

ここでは、本製品をパソコンに接続する方法を説明します。

用意するもの

・本製品　（DVDRM-AB9.4G）

・IDEフラットケーブル

（通常はパソコン本体添付のIDEフラットケーブルをお使いください。ただし、パソコン本体に添付されているIDEフラットケーブルが１ドライブ用で、CD-ROMドライブなどのIDE機器を2台同系列に接続する場合は、5ページをご覧になり、別途オプションケーブルをお買い求めください。）

《本体内蔵スピーカー等で音楽CDを聴く場合》

・オーディオケーブル

（DOS/Vマシンの場合、添付のオーディオケーブル（コネクタ：白⇔青）または（コネクタ：白⇔白）をご用意ください。
PC98-NXシリーズの場合、オーディオケーブルはパソコン本体に付属のものをお使いください。
取り付けについては、以下の【本製品で音楽CDを聴く場合】をご覧ください。
※既にお使いのCD-ROMドライブと本製品を併用する場合、オーディオケーブルは、既存のCD-ROMドライブか本製品のどちらか一方の接続となります。）

【本製品で音楽CDを聴く場合】

次の①～③のいずれかの方法で接続してください。

①ステレオミニプラグ付きヘッドホンまたはヘッドホンステレオ用のスピーカーを、本製品前面のヘッドホン端子に接続する。

②オーディオケーブルで、本製品背面のオーディオコネクタ（9ページ参照）とサウンドボードの「CD IN」コネクタまたはパソコン本体のオーディオコネクタとを接続する。

③市販のステレオケーブルで、本製品前面のヘッドホン端子とサウンドボードの「LINE IN」コネクタを接続する。

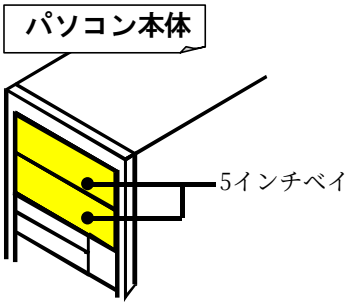
取り付け

本製品を取り付ける際には、パソコン本体の取扱説明書も参照してください。
本製品のIDEコネクタは、パソコンの取扱説明書によっては、「信号コネクタ」と記載されている場合があります。

1 パソコンの周辺機器およびパソコンの電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

2 5インチベイのカバーを外し、本製品を挿入します。

取り外し方法はパソコン本体の取扱説明書をご覧ください。



※入れる場所は機種により異なります。詳しくは、パソコン本体の取扱説明書をご覧ください。

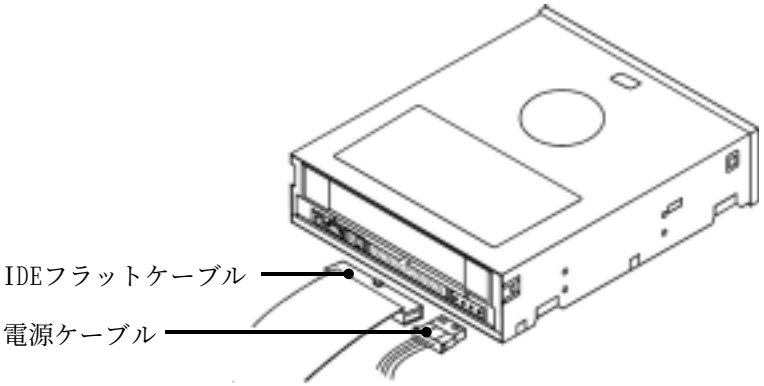
3　各ケーブルを接続します。

●IDEフラットケーブル

パソコン本体から出ているIDEフラットケーブルを、本製品のIDEコネクタに接続します。プライマリ（1系列目）またはセカンダリ（2系列目）を十分確認し、接続してください。

●電源ケーブル

パソコン本体から出ている電源ケーブルを本製品の電源コネクタに接続します。

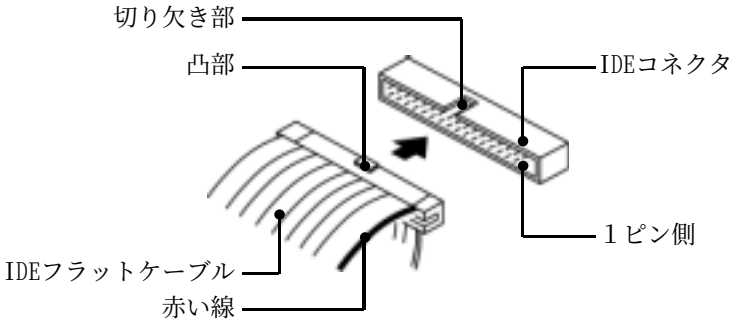


ケーブルにコネクタを差し込むときは、ケーブルの向きにご注意ください。

逆向きだと差し込めないようになっていますが、無理に差し込もうとすると、コネクタを破損する恐れがあります。コネクタを差し込んだり抜いたりする場合は、ピンが折れないようにコネクタをまっすぐにして行ってください。ピンが折れると正常に動作しません。

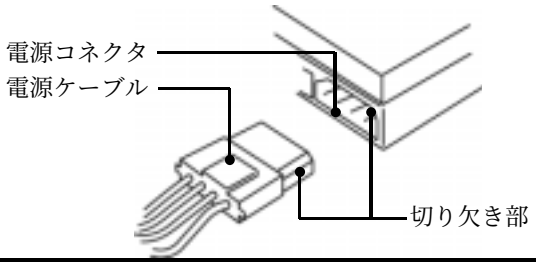
●IDEフラットケーブル

IDEフラットケーブルのコネクタの中央にある凸部が、IDEコネクタの切り欠き部と合うように挿入します。（中央の凸部がない場合は、赤い線とコネクタの1ピンの向きを合わせてください。）

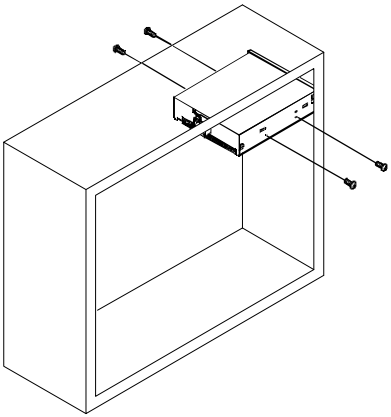


●電源ケーブル

電源ケーブルのコネクタの切り欠き部と、電源コネクタの切り欠き部が合うように挿入します。



4　添付の取り付けネジで本製品をとめます。



5　パソコン本体のルーフカバーを取り付けます。

パソコン本体取扱説明書をご覧ください。

以上で、本製品の接続は終了です。次ページへお進みください。

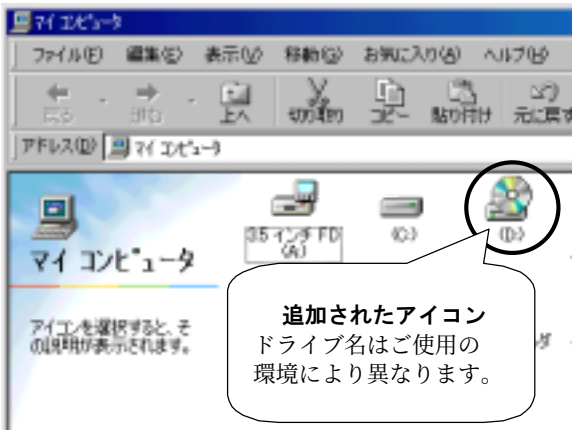
3．インストールする

ここでは、DVD-RAMドライブを使用するのに必要なソフトウェアのインストール方法および確認方法を説明します。

インストール前の確認

デスクトップ上の[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックして、[CD-ROM]アイコンが追加されたことを確認してください。表示されない場合は、[表示]メニューから[最新の情報に更新]をクリックしてください。

▼表示例



ドライブアイコンが表示されていない場合 → **【本製品がパソコンに認識されない】 (87ページ)の原因1～4をご覧ください。**

アイコンが追加されていることが確認できましたら、次ページへお進みください。

インストール

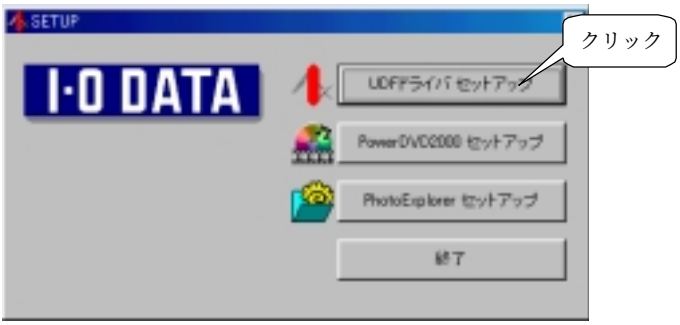
DVD-RAMを使用するには、デバイスドライバをインストールする必要があります。
以下の手順にしたがって、インストールしてください。

1　Windowsを起動します。

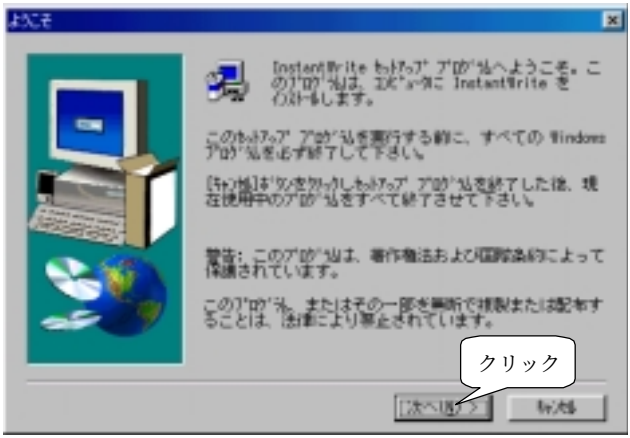
2　DVDRMツールズコレクションCD-ROMを本製品に挿入します。

3　自動でメニュー画面が表示されますので、[UDFドライバセットアップ]ボタンをクリックします。

自動で表示されない場合は、[マイコンピュータ]→[Dvdrm_tc100]の[Setup.exe]をダブルクリックしてください。

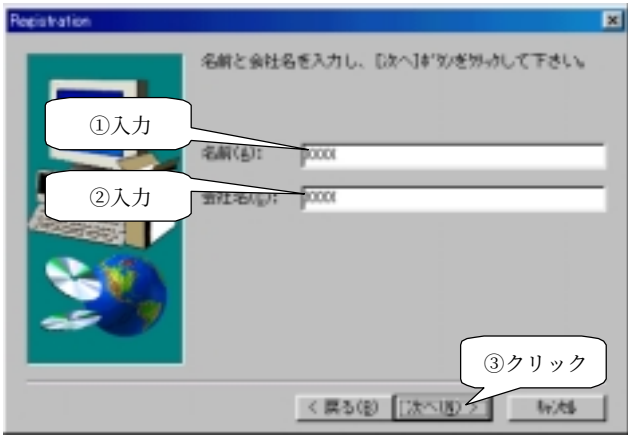


4 [次へ]ボタンをクリックします。



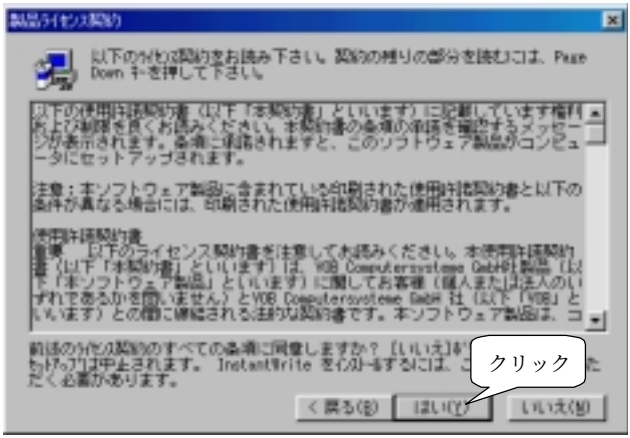
5 [名前]と[会社名]を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

会社で使用しない場合、[会社名]には、”Personal”など任意に入力してください。

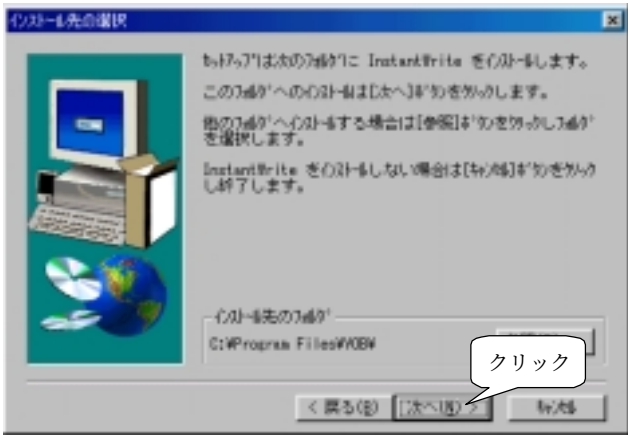


6 同意する場合は[はい]ボタンをクリックします。

同意しない場合は、使用できません。



7 [次へ]ボタンをクリックします。

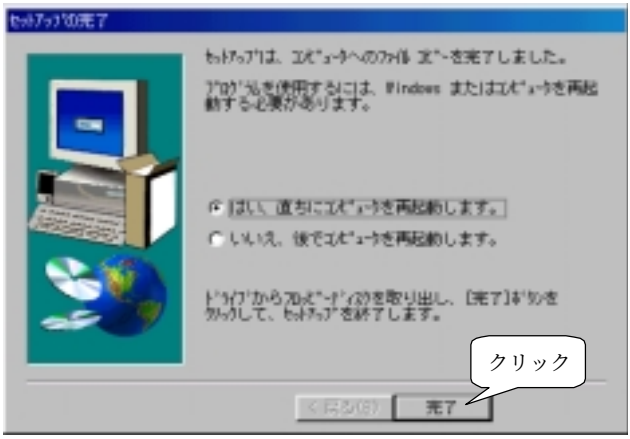


8 [次へ]ボタンをクリックします。



9 [完了]ボタンをクリックします。

パソコンを再起動します。



以上でインストールは終了です。第3章へお進みください。

第3章

基本操作

この章では、本製品を使う上での基本的な操作を説明します。

1．ディスクの取り扱い方法　30ページ

ディスクの入れ方/取り出し方などを説明します。

ディスクを入れる……30
ディスクを取り出す……32
DVD-RAMディスクを書き込み禁止にする……36
DVD-RAMディスク(カートリッジ)からディスクを取り出す……37

2．DVD-RAMディスクのフォーマット　39ページ

DVD-RAMディスクのUDFフォーマット方法を説明します。

UDFフォーマットする……40

3．データを書き込む　43ページ

DVD-RAMディスクにデータを書き込む方法を説明します。

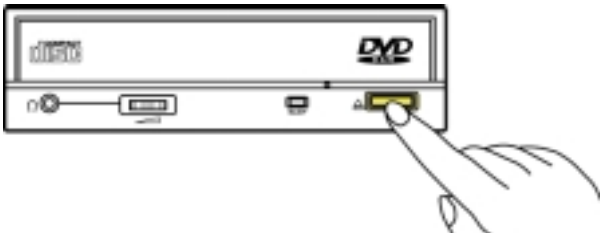
4．データを読み込む　45ページ

DVD-ROMやCD-ROMなどのデータを読み込む方法を説明します。

１．ディスクの取り扱い方法

ディスクを入れる

1 **本製品前面のイジェクトボタンを押します。**



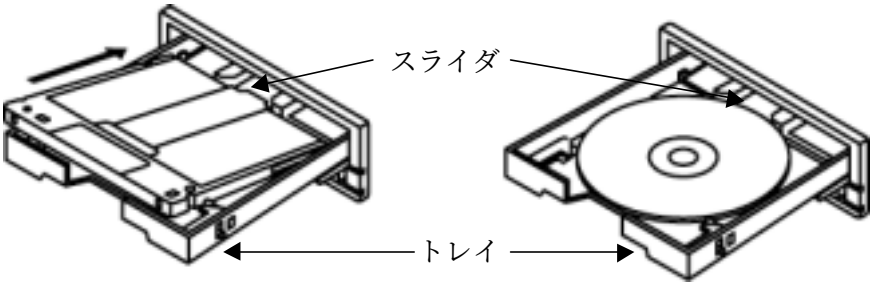
2 **ディスクを入れます。**

ディスクのラベル面を上にして、ディスクでスライダを奥に押し込んでトレイにのせます。

横置きの場合

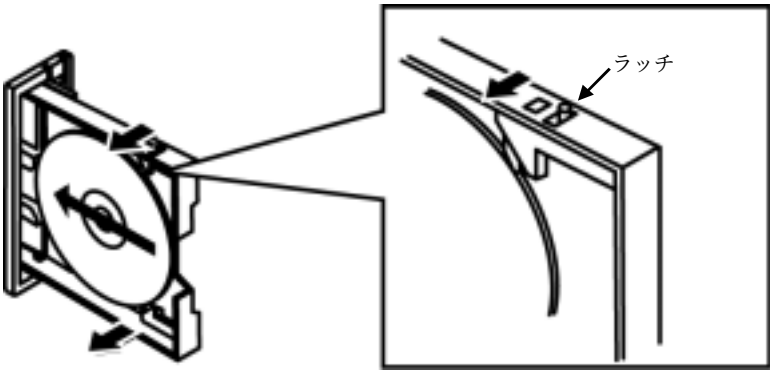
▼DVD-RAMディスクの場合

▼CD-ROMなどのディスクの場合



縦置きの場合　（12㎝ディスク以外は縦置きで使用できません。）

① トレイ両サイドにあるラッチを矢印方向に持ち上げます。
② ディスクでスライダを押し込みながら、ラッチとトレイの間にディスクをはさみこみます。



・ディスクは確実にセットしてください。確実にセットしないと、ディスクが外れ、傷つく恐れがあります。
・トレイを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。ドライブのローディング部が破損する恐れがあります。
・12㎝CDを使うときは大きい円形のくぼみに、8㎝CDを使うときは小さい円形のくぼみに乗せてください。両CDを同時にトレイに乗せないでください。また、8㎝CD使用時は横置きでお使いください。
・ディスクの記録面には触れないでください。

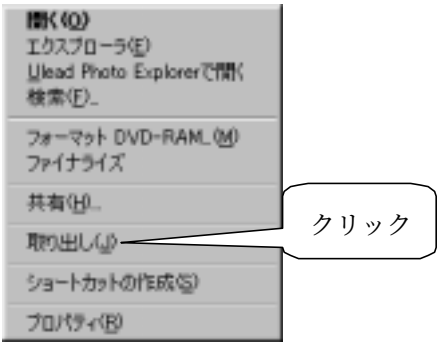
3　イジェクトボタンを押す、またはトレイをかるく押します。

ディスクを取り出す

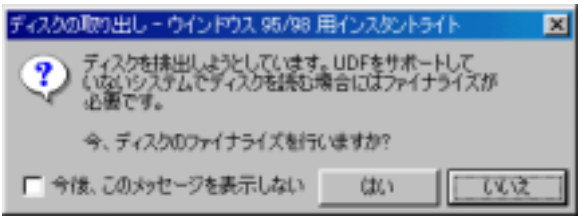
取り出し手順ーその１

1 本製品のアイコンを右クリックし、[取り出し]をクリックします。

[マイコンピュータ]や[エクスプローラ]内の本製品のアイコンを右クリックします。



以下の画面が表示されることがあります。



[はい]をクリックすると…

ファイナライズを行い、その後ディスクを取り出します。

[いいえ]をクリックすると…

ファイナライズを行わずにディスクを取り出します。

【ファイナライズ】については次ページをご覧ください。

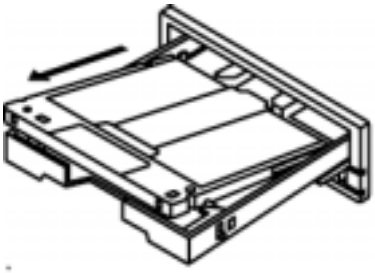
【ファイナライズ】

ファイナライズとは、本製品でDVD-RAMディスクに記録したUDFデータを、UDFリーダ機能のないOS下でDVD-ROMドライブ（4.7GB DVD-RAMディスク読込可）を使用して、データの読み込みを可能にする機能です。
ファイナライズを行った後は、UDF、ISO9660規格、どちらのファイルシステムでもメディアのデータを読み出すことが可能になります。
また、ファイナライズ済みのDVD-RAMに以前のように続けて書き込みを行うこともできます。
なお、一部のUDFファイルシステムドライバが搭載されている場合に、ファイナライズされたメディアのデータが読み出せない場合もあります。
ファイナライズの方法については、57ページをご覧ください。

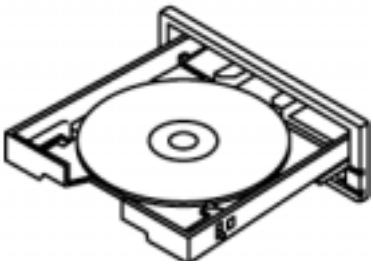
2 ディスクを取り出します。

ディスクの記録面に触れないようにして取り出します。

▼DVD-RAMディスクの場合



▼CD-ROMなどのディスクの場合

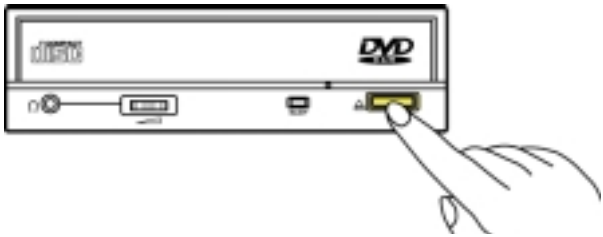


3 イジェクトボタンを押す、またはトレイをかるく押します。

ディスクを排出後、トレイはドライブ内部にすみやかに収納してください。トレイが排出状態だとドライブ内部にゴミが侵入し、リードエラー・ライトエラーまたはドライブの故障の原因となる恐れがあります。

取り出し手順ーその２

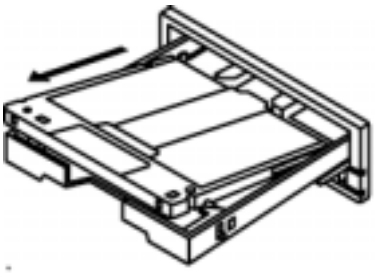
1　本製品前面のイジェクトボタンを押します。



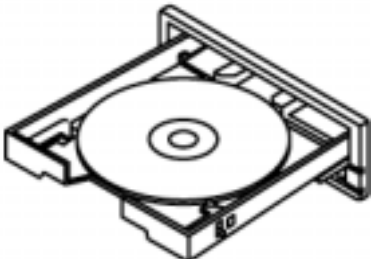
2　ディスクを取り出します。

ディスクの記録面に触れないようにして取り出します。

▼DVD-RAMディスクの場合



▼CD-ROMなどのディスクの場合



3　イジェクトボタンを押す、またはトレイをかるく押します。

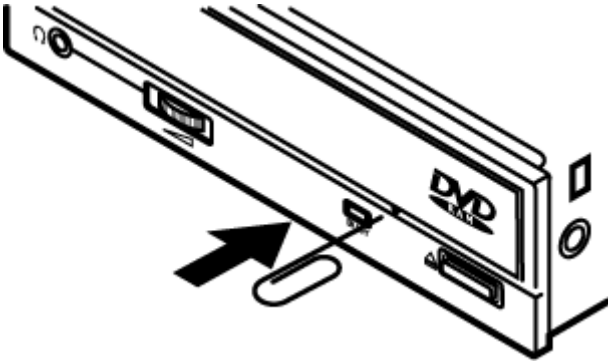
ディスクを排出後、トレイはドライブ内部にすみやかに収納してください。トレイが排出状態だとドライブ内部にゴミが侵入し、リードエラー・ライトエラーまたはドライブの故障の原因となる恐れがあります。

ディスクが取り出せない場合

・以下の操作は、緊急のための操作です。むやみにご使用になると故障の原因となります。
・以下の操作は、必ずWindowsを終了し、本製品およびパソコン本体の電源を切った状態で行ってください。
・以下の方法で取り出せなかった場合は、無理に引き出さず弊社修理係にご依頼ください。

必要なもの…太さ1.3㎜程度、長さ55㎜以上（指で持つ部分を除く）の針金1本。
大きめのペーパークリップを伸ばしても使用する事ができます。

1 強制イジェクトホールに針金を差し込み強く押します。

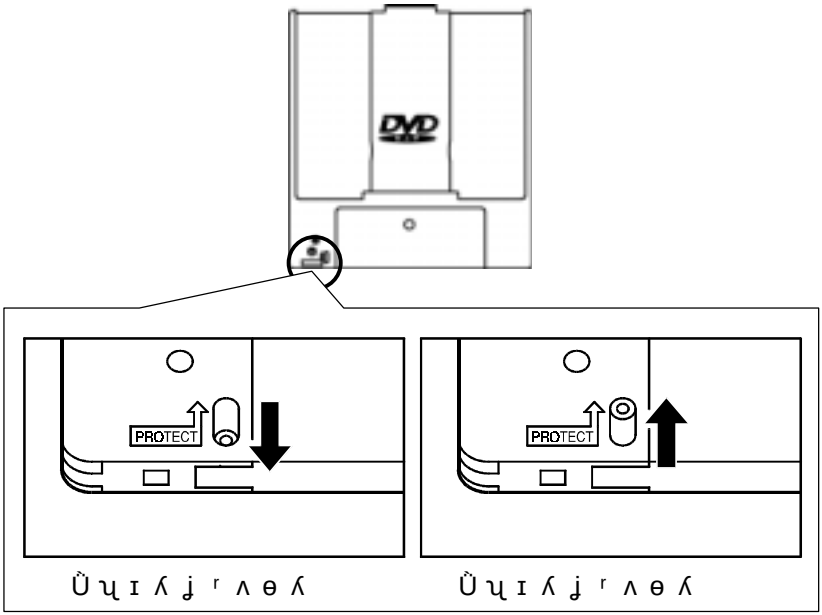


2 トレイが15㎜程度前に出るので手で更に引き出し、ディスクを取り出します。ディスクを取り出した後、トレイを軽く押し戻してください。

DVD-RAMディスクを書き込み禁止にする

大切なデータを保護する場合は、DVD-RAMディスクをライトプロテクト（書き込み禁止）状態にします。下図の部分をボールペンの先などで、ライトプロテクトの位置に移動させてください。

ライトプロテクトの方法は、ディスクメーカーにより異なります。
以下では本製品添付のDVD-RAMディスクについて説明しています。



DVD-RAMディスク(カートリッジ)からディスクを取り出す

本製品添付のDVD-RAMディスクはカートリッジからディスクを取り出すことができます。取り出したディスクは弊社DVD-AB12RMなどのDVD-ROMドライブ※で読み込むことができます。ここでは、ディスクの取り出し方を説明します。

※4.7GB DVD-RAM読み込み対応のDVD-ROMドライブのみ可能（読み込みが可能かどうかについては、各ドライブの取扱説明書をご覧ください。）

【DVD-RAMディスクの種類】

DVD-RAMディスクには以下の種類があります。

●TYPE Ⅰ… ディスクの取り出しはできません。
片面タイプ：2.6GB,4.7GB、両面タイプ：5.2GB,9.4GBがあります。

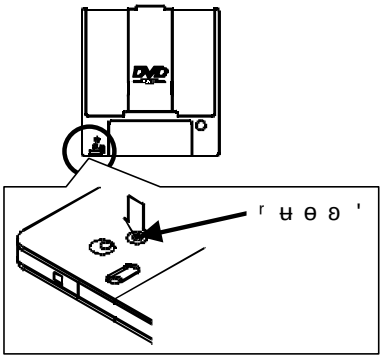
●TYPE Ⅱ… ディスクの取り出しができます。（本製品に添付されているもの）
片面タイプ：2.6GB,4.7GBがあります。

●ベアタイプ…カートリッジがないタイプです。（4.7GBのみ）

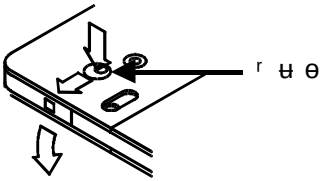
●8cmタイプ …両面タイプ：2.8GBがあります。

取り出し方法

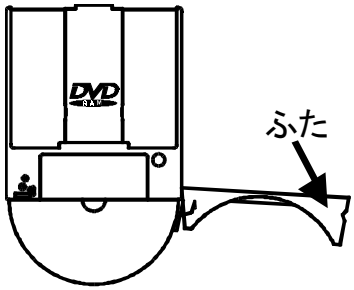
1 ロックピンをボールペンの先などで突き折って取り除きます。



2 ふたのロックをボールペンの先などで押し込みながら矢印の方向に動かし、ロックを解除します。



3 ふたを開き、ディスク表面に触れないように取り出します。



・取り出したディスクは書き込み速度が低下する場合があります。
・取り出したディスクをカートリッジに戻す場合は、カートリッジの印刷面とディスクの印刷面が同じ向きになるようにし、ふたは“カチッ”と音がするまで確実に閉じてください。
・取り出したディスクの表面はゴミやホコリ、指紋などで汚したり、傷つけたりしないでください。また、落としたり、曲げたり、紙を貼ったりしないでください。

２．DVD-RAMディスクのフォーマット

本製品でDVD-RAMディスクにデータを記録するには、最初にUDFフォーマットをして、DVD-RAMディスクを使用できる状態にする必要があります。
ここでは、【第２章】でインストールしたUDFドライバを使用してのUDFフォーマット方法を説明します。



【UDF】

データの可搬性と実装の容易性を目的として，Optical Storage Technology Association（OSTA）によって仕様を設定された汎用のディスクファイルフォーマットです。ISO13346に準じており、DVDのファイルシステムとして採用されることが決定しています。

本製品は、３つのバージョン（1.02、1.50、2.00）をサポートしています。

- **通常使用する場合は、「UDF 2.00」を推奨します。**
- **4.7GB DVD-RAMリード対応のDVD-ROMドライブ搭載のパソコンで読み出す場合は、「UDF 1.02」を推奨します。**
- **UDF2.00でフォーマットしたディスクを4.7GB DVD-RAMリード対応DVD-ROMドライブ搭載のパソコンで読み出す場合や、UDFリーダ機能のないOSで読み出す場合は、ファイナライズしてください。（57ページ参照）**

▼（参考）4.7GB DVD-RAMリード対応DVD-ROMドライブの読み出し対応一覧
（○：正常に読み出し可能、空白：非対応）

OS	UDF 1.02	UDF 1.50	UDF 2.00
Windows 95			
Windows 95 OSR2			
Windows 98	○	○	
Windows 98 Second Edition	○	○	
Windows NT 4.0			
Windows 2000	○	○	
Windows Me	○	○	

《UDFフォーマットを実行する際のご注意》

- **以下のフォーマットを実行すると、ディスクに保存されているデータがすべて消去されます。必要に応じてバックアップをとることをおすすめします。**
- **DVD-RAMディスクをフォーマットする場合は、必ず以下の方法で行ってください。**

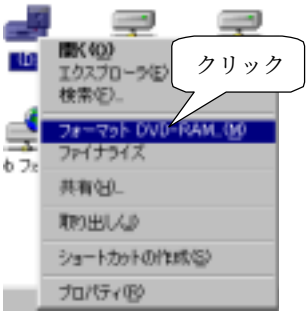
UDFフォーマットする

1 **本製品にUDFフォーマットしたいDVD-RAMディスクを挿入します。**

2 **[マイコンピュータ]をダブルクリックし、本製品のアイコンを右クリックします。**

メニューが表示されます。

3 **表示されたメニューから、[フォーマット DVD-RAM]をクリックします。**



メニューに
表示されていない場合

61ページの方法でフォーマットしてください。

4 [UDFバージョン]を選択します。

▼をクリックし「UDF 1.02」「UDF 1.50」「UDF 2.00」から選択してください。

UDFバージョンについては、【UDF】（39ページ）をご覧ください。

5 [フォーマットタイプ]を選択します。

「クイック」「フル（サーティフィケーション有り）」から選択してください。

6 [オプション]を選択します。

必要ならば[ラベル]を入力してください。ラベルを入力しない場合は、[ボリュームラベルなし]にクリックしてください。

[結果レポートの表示]にチェックを付けると、フォーマット後に、結果が表示されます。

7 [開始]ボタンをクリックします。



8 フォーマットして良ければ、[OK]ボタンをクリックします。

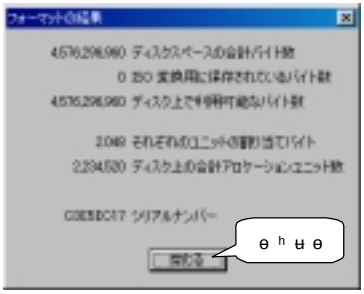
フォーマットを開始します。



9 フォーマット終了後、[閉じる]ボタンをクリックします。

フォーマット終了後、手順 **7** の画面に戻ります。

手順 **7** で[結果レポートの表示]にチェックしていた場合は、以下のような画面が表示されますので、[閉じる]ボタンをクリックしてください。

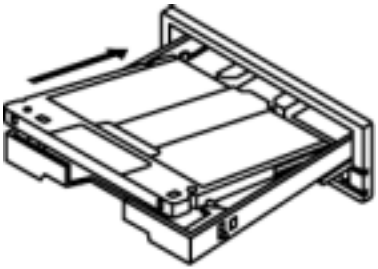


以上でUDFフォーマットは終了です。

３．データを書き込む

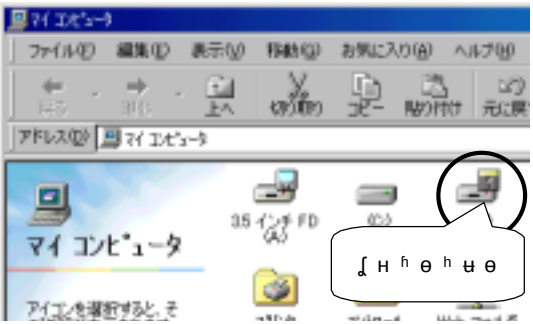
ここでは、DVD-RAMディスクにデータを書き込む方法を説明します。

1　本製品にUDFフォーマット済みのDVD-RAMディスクを挿入します。



2　[マイコンピュータ]をダブルクリックし、本製品のアイコンをダブルクリックします。

挿入したDVD-RAMディスクにファイルが書き込まれている場合は、ファイル名が表示されます。このファイルはフロッピーディスクなどのファイルと同様に扱うことができます。



3 **書き込みたいファイルをコピーします。**

例えば、エクスプローラなどで書き込みたいファイルを表示し、本製品のアイコンにドラッグ＆ドロップすると、そのファイルがコピーされます。



【ドラッグ＆ドロップ】

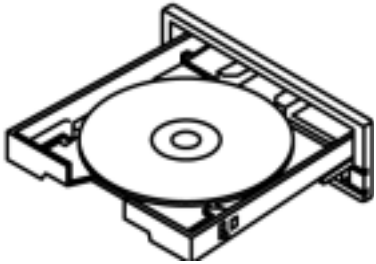
マウスボタンを押したままマウスを移動させ、マウスボタンを離すことです。この操作で、ウィンドウの大きさを変えたり、ファイルを移動・コピーすることができます。

以上でデータの書き込みは終了です。

４．データを読み込む

ここでは、本製品でDVD-ROMやCD-ROMなどのデータを読み込む方法を説明します。

1　本製品にディスクを挿入します。



2　本製品のBUSYランプが消灯したことを確認します。

3　[マイコンピュータ]をダブルクリックし、本製品のアイコンをダブルクリックします。

従来のDVD-ROMドライブまたはCD-ROMドライブと同様に動作します。

以上でデータの読み込みは終了です。

MEMO

付録

必要に応じてお読みください。

サービス品 48ページ

サービス品のインストールなどについて説明します。

動画を作成する 51ページ

MPEG2ファイルの作成方法について説明します。

その他の機能 56ページ

DVD-RAMディスクの応用的な機能について説明します。

音楽CDを聴く/PhotoCDを見る 65ページ

添付のサポートソフトの使用方法を説明します。

困った時には 86ページ

使用していて異常があった場合にご覧ください。

仕様 95ページ

本製品の仕様です。

サービス品

本製品にはサービス品として以下の4種類のソフトウェアを添付しております。
それぞれ必要に応じてインストールし、ご活用ください。

内容	収録場所
●ビデオ編集ソフト 「VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SE」	VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SE CD-ROM
●静止画編集ソフト 「PhotoImpact 5.0 BE」	PhotoImpact 5.0 BE CD-ROM
●マルチメディアファイル管理ソフト 「Photo Explorer 5.0」	DVDRMツールズコレクション CD-ROM
●DVDビデオ再生ソフト 「PowerDVD 2000」	DVDRMツールズコレクション CD-ROM

ソフトウェアの詳細については、各ソフトウェアのヘルプまたはオンラインマニュアルをご覧ください。
オンラインマニュアルはPDFファイルとなっていますので、各CD-ROM内に収録されている「Adobe Acrobat Reader」をインストールした上でお読みください。

●オンラインマニュアルの収録場所

- 「VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SE」：VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SE CD-ROMの[Document]→[Manual]→[Japanese]→[Vstudio.pdf]
- 「PhotoImpact 5.0 BE」：PhotoImpact 5.0 BE CD-ROMの[Document]→[Manual]→[Japanese]→[UPI_5manual.pdf]
- 「Photo Explorer 5.0」：DVDRMツールズコレクションCD-ROMの[PE5JOEM]→[Manual]→[pe5_manual.pdf]
- 「PowerDVD 2000」：DVDRMツールズコレクションCD-ROMの[POWERDVD]→[Manual.pdf]

●「Adobe Acrobat Reader」の収録場所

- VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SE CD-ROMおよびPhotoImpact 5 BE CD-ROM：[Document]→[Acrobatreader]→[Japanese]→[ar405jpn.exe]
- DVDRMツールズコレクションCD-ROM：[POWERDVD]→[Acrobatreader]→[ar40jpn.exe]

各ソフトウェアのインストール方法

●VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SEのインストール方法



《VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SEをインストールする際のご注意》
すでに本製品以外で「Ulead VideoStudio 3.0 SE」をインストールしている場合は、アンインストールしてから本製品添付の「Ulead VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SE」をインストールしてください。

Windowsを起動後に、CD-ROMドライブにVideoStudio 4.0 MPEG2(S) SE CD-ROMをセットしてください。自動的にメインメニューが表示されます。後は、画面の指示にしたがってインストールしてください。
（自動的に起動しない場合は、VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SE CD-ROMの[Setup]フォルダー→[Autoexec.exe]をダブルクリックしてください。）
インストール後、【動画を作成する】（51ページ）をご覧ください。

VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SEを使用しなくなった場合に行ってください。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]からアンインストールを行ってください。

●PhotoImpact 5.0 BEのインストール方法

Windowsを起動後に、CD-ROMドライブにPhotoImpact 5.0 BE CD-ROMをセットしてください。自動的にメインメニューが表示されます。後は、画面の指示にしたがってインストールしてください。
（自動的に起動しない場合は、PhotoImpact 5.0 BE CD-ROMの[Setupdir]フォルダー→[Autoexec.exe]をダブルクリックしてください。）

PhotoImpact 5.0 BEを使用しなくなった場合に行ってください。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]からアンインストールを行ってください。

●Photo Explorer 5.0のインストール方法

Windowsを起動後に、CD-ROMドライブにDVDRMツールズコレクションCD-ROMをセットしてください。自動的にメインメニューが表示されます。後は、画面の指示にしたがってインストールしてください。
（自動的に起動しない場合は、DVDRMツールズコレクションCD-ROMの[Setup.exe]をダブルクリックしてください。）

Photo Explorer 5.0を使用しなくなった場合に行ってください。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]からアンインストールを行ってください。

●PowerDVD 2000のインストール方法

Windowsを起動後に、CD-ROMドライブにDVDRMツールズコレクションCD-ROMをセットしてください。自動的にメインメニューが表示されます。後は、画面の指示にしたがってインストールしてください。
（自動的に起動しない場合は、DVDRMツールズコレクションCD-ROMの[Setup.exe]をダブルクリックしてください。）
インストール後、別冊の「PowerDVD 2000クイックガイド」をご覧ください。

PowerDVD 2000を使用しなくなった場合に行ってください。
[スタート]→[プログラム]→[CyberLink PowerDVD 2000]→[PowerDVDのアンインストール]からアンインストールを行ってください。

動画を作成する

添付のVideoStudio 4.0 MPEG2(S) SEを使用します。
VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SE（以下「VideoStudio」と呼びます）の詳細ついてはヘルプをご覧ください。

《VideoStudioを使用する際のご注意》
使用方法の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

ユーリードシステムズ製品に関するお問い合わせは… → **96ページをご覧ください。**

MPEG

動画（MPEG2）ファイルを作成する方法を説明します。

1 ビデオキャプチャボードで動画（AVI）ファイルをキャプチャ（取り込み）します。

方法についてはビデオキャプチャボードの取扱説明書をご覧ください。

自分で著作権を持っていない場合、あるいは著作権者からコピーの許可を得ていない場合は、著作権法に違反することになり、刑罰の対象となる場合があります。

2 [VideoStudio]を起動します。

[スタート]→[プログラム]→[Ulead VideoStudio 4.0 SE]→[Ulead VideoStudio 4.0 SE]をクリックすると起動します。

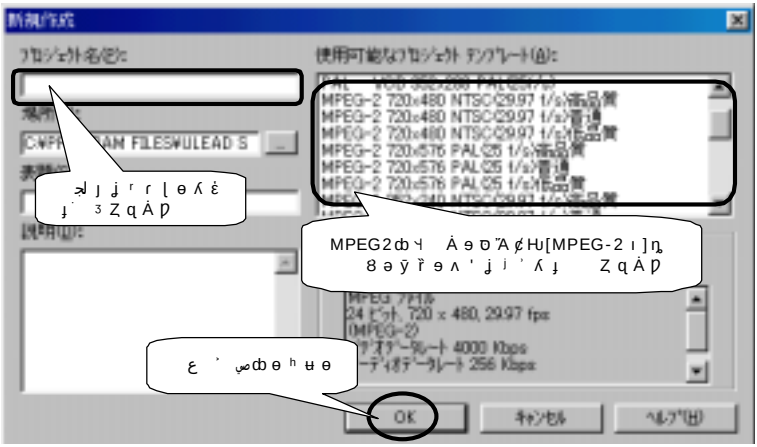
3 をクリックします。

プロジェクトを新規作成します。



4 各設定をして、[OK]ボタンをクリックします。

プロジェクト名およびテンプレートを設定してください。
その他の設定についてはヘルプをご覧ください。

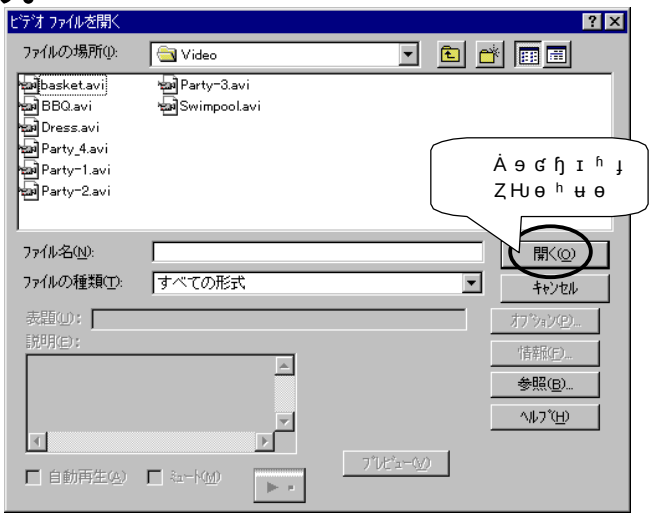


5  をクリックします。

編集するAVIファイルを選択します。



6 編集するファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。



7 編集するファイルをドラッグ＆ドロップして、動画の構成を決定します。

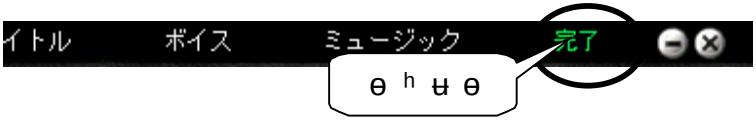
ドラッグ＆ドロップに関しては、44ページをご覧ください。



8 [効果][タイトル][ボイス][ミュージック]ステップを設定する場合はヘルプをご覧ください。



9 [完了]ステップをクリックします。



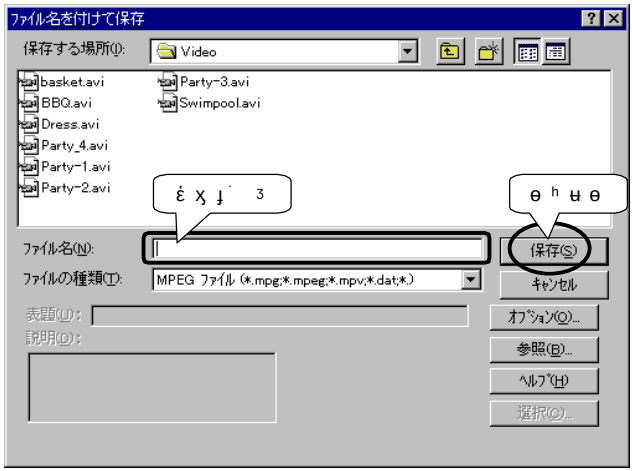
10  をクリックします。

MPEG2ファイルとして保存します。



11 ファイル名を入力し、[保存]ボタンをクリックします。

ファイルの保存が始まります。



作成したファイルをDVD-RAMディスクに保存する場合は、【データを書き込む】（43ページ）をご覧ください。

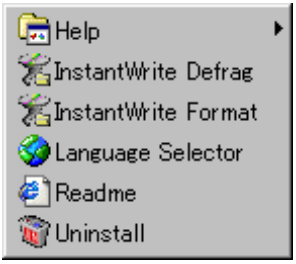
PowerDVD 2000

その他の機能

ここでは、DVD-RAMディスクを使用する上での応用的な機能について説明します。
【第2章】のインストールをすることにより、使用できるようになります。

① 本製品のドライブアイコンを右クリックするとメニューから[ファイナライズ]が使用できます。（次ページ参照）

② [スタート]→[プログラム]→[VOB IntstantWrite]をクリックすると以下のメニューが使用できます。



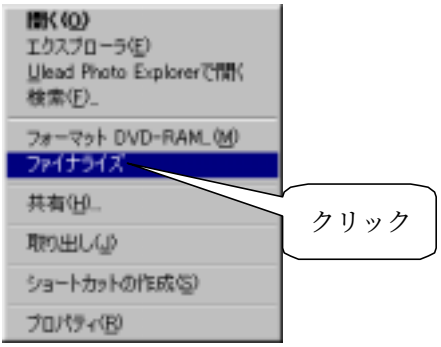
メニュー項目	内容
Help	[VOB IntstantWrite]のヘルプを表示します。
InstantWrite Defrag	ウィザード形式でDVD-RAMディスクのデフラグを実行します。（58ページ参照）
InstantWrite Format	ウィザード形式でDVD-RAMディスクのフォーマットを実行します。（61ページ参照）
Language Selector	[VOB IntstantWrite]をさまざまな言語で表示することができます。
Uninstall	[VOB IntstantWrite]およびドライバをアンインストール（削除）します。

● ファイナライズする

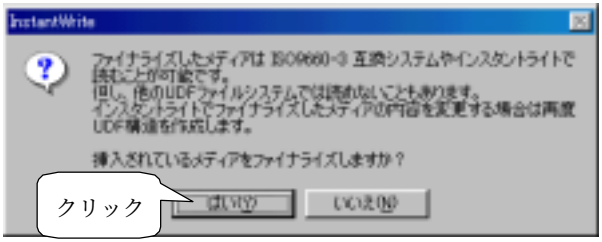
【ファイナライズ】については33ページをご覧ください。

1 本製品のアイコンを右クリックし、[ファイナライズ]をクリックします。

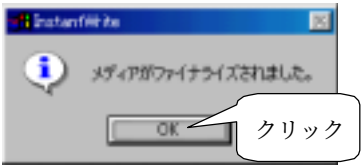
[マイコンピュータ]や[エクスプローラ]内の本製品のアイコンを右クリックします。



2 [はい]ボタンをクリックします。



3 [OK]ボタンをクリックします。



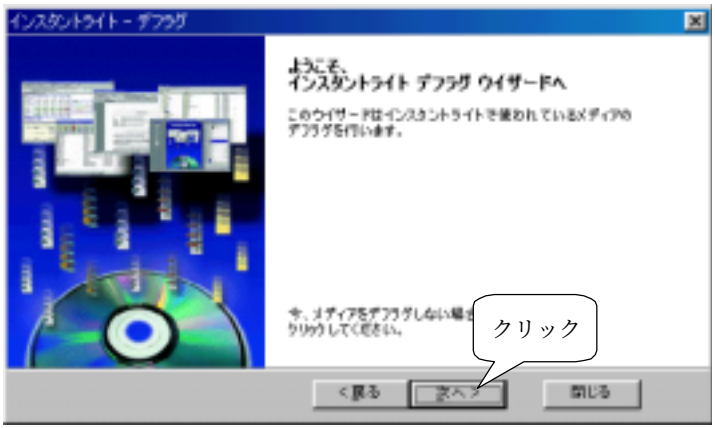
●DVD-RAMディスクのデフラグをする

ウィザード形式でDVD-RAMディスクのデフラグを実行します。

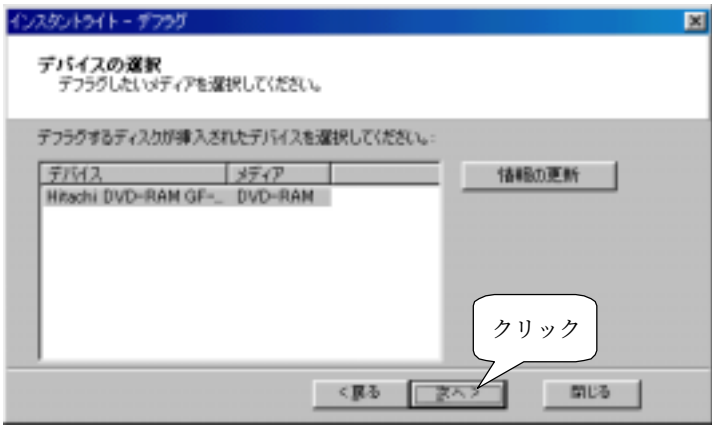
1 **本製品にデフラグをしたいDVD-RAMディスクを挿入します。**

2 **[スタート]→[プログラム]→[VOB InstantWrite]→[InstantWrite Defrag]をクリックします。**

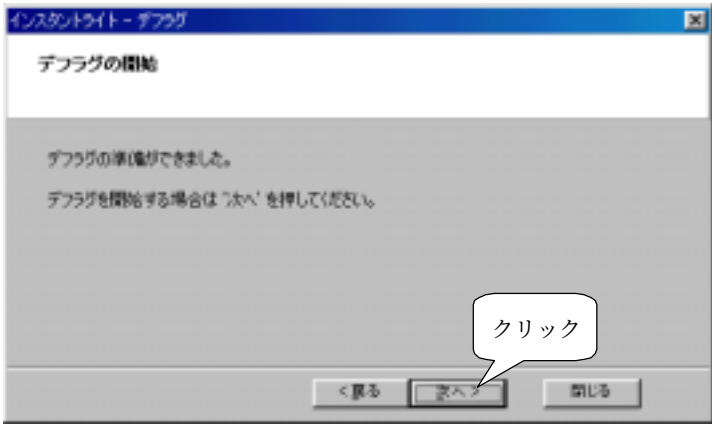
3 **[次へ]ボタンをクリックします。**



4 **デフラグをするディスクを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。**



5 **デフラグを開始して良ければ、[次へ]ボタンをクリックします。**



6 [閉じる]ボタンをクリックします。



以上でデフラグは終了です。

●DVD-RAMディスクをフォーマットする

ウィザード形式でDVD-RAMディスクのフォーマットを実行します。

1 **本製品にフォーマットをしたいDVD-RAMディスクを挿入します。**

2 **[スタート]→[プログラム]→[VOB InstantWrite]→[InstantWrite format]をクリックします。**

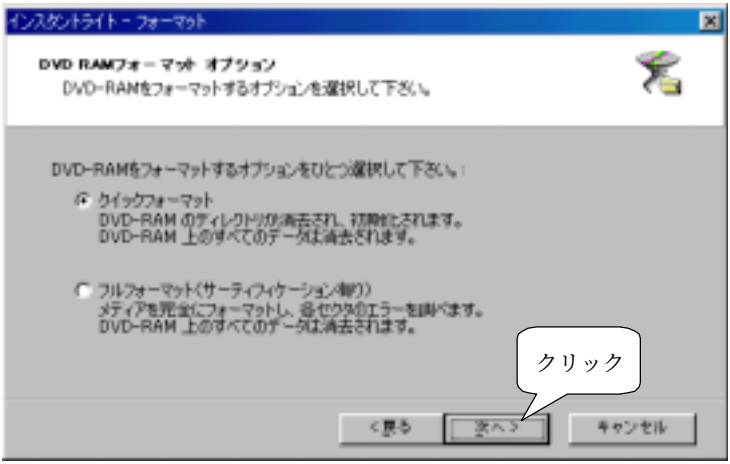
3 **[次へ]ボタンをクリックします。**



4 **フォーマットを行うディスクを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。**

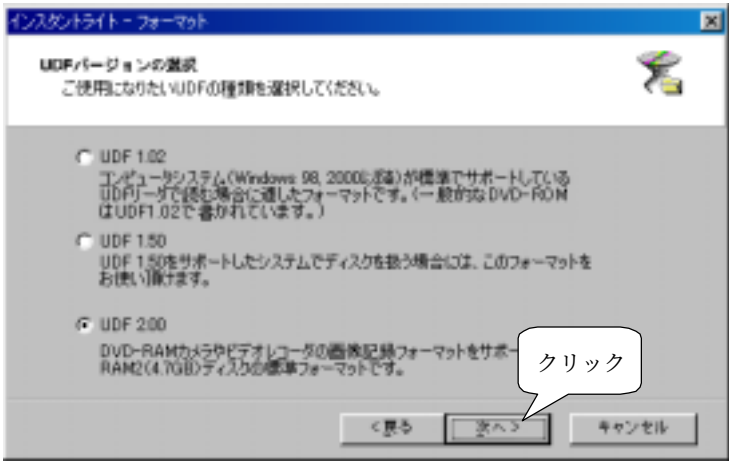


5 **DVD-RAMフォーマットオプションを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。**

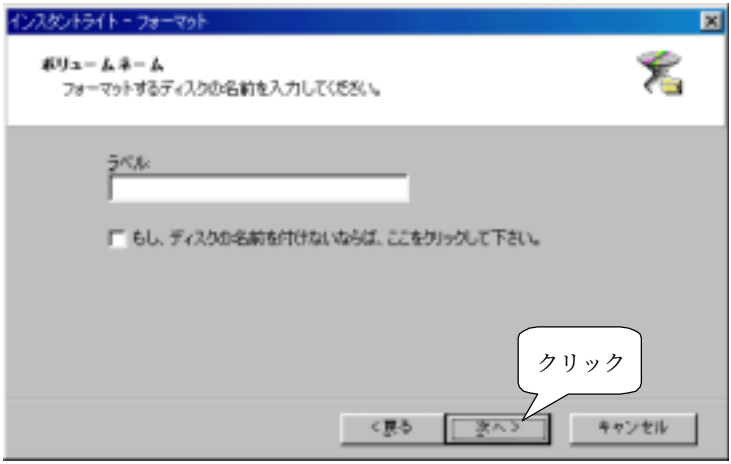


6 UDFバージョンを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

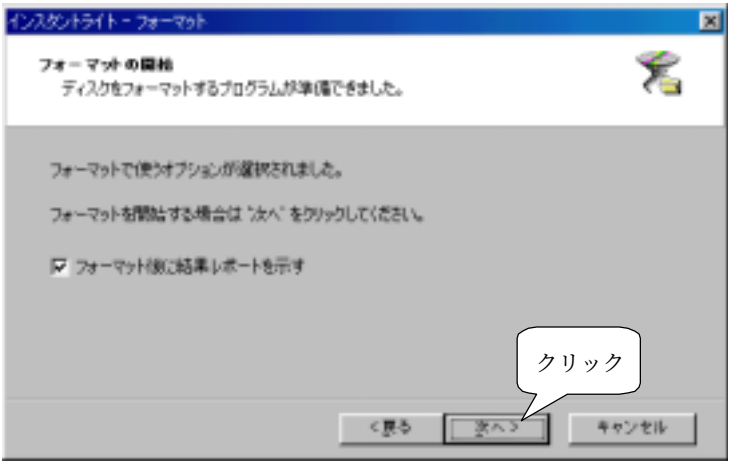
UDFバージョンについては、【UDF】（39ページ）をご覧ください。



7 必要ならばラベルを入力して、[次へ]ボタンをクリックします。



8 **フォーマットして良ければ、[次へ]ボタンをクリックします。**



9 **[閉じる]ボタンをクリックします。**



以上でフォーマットは終了です。

音楽CDを聴く／Photo CDを見る

ここでは、本製品添付のサポートソフトの使用方法を説明します。

サポートソフトについて

インストールを行うと、以下のユーティリティが使用できるようになります。

以下のユーティリティはWindows 98/95専用です。また、以下のユーティリティをインストールしなくても、本製品は使用できます。

◇CD Player

1. 音楽CDの再生
   お手持ちの音楽CDを再生。通常再生はもちろん、トラックサーチ（曲の頭だし）やリピート再生も可能です。
2. オーディオキャプチャ機能
   音楽CD上のオーディオトラックをWAVEファイルに変換します。
3. CD TEXT対応
   CD TEXTディスクに記録されているアルバムタイトル，トラックタイトル，アーティスト名などの情報を表示することができます。

◇フォトCDビューア

Photo CDの再生ソフト。表示データの簡単な編集、他の画像フォーマットへの変換、スライドショーなどが楽しめます。

◇CDセレクト

CD-ROMドライブに入っているCDメディアの種類を自動的に判別して、最適なプレーヤーやビューアを起動します。

以上のユーティリティを使用する場合は、次ページ以降を参照し、インストールを行ってください。

実行用ディスクを作る

本製品に添付のサポートソフトは、必ず以下の手順でバックアップを取り、バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてお使いください。
ここでは、実行用ディスクの作り方を説明します。

1 **1.44MBでフォーマット済みの空きフロッピーディスク(3.5インチ2HD)を用意します。**

2 **サポートソフトディスクを書き込み禁止にします。**

3 **[マイコンピュータ]→[3.5インチ FD]を右クリックし、[ディスクのコピー]を選択します。**



4 **メッセージにしたがってバックアップを取ります。**
サポートソフトディスクと空きのフロッピーディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、バックアップを取ります。

サポートソフトディスクを破損した場合の修理は有償です。必ずバックアップを取り、サポートソフトディスクは大切に保管してください。

サポートソフトのインストール

本製品添付のサポートソフトをインストールします。

1 **Windowsを起動します。**

2 **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。**

3 **サポートソフトをフロッピーディスクドライブにセットします。**

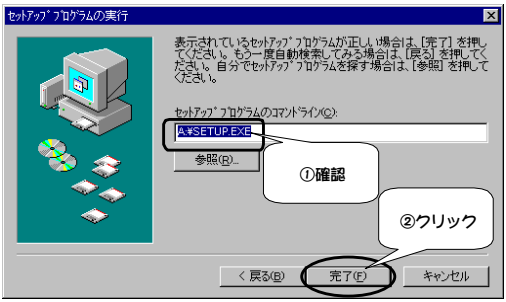
4 **[セットアップと削除]タブの[セットアップ]ボタンをクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。**



5 「セットアッププログラムのコマンドライン」で A:\SETUP.EXE

(フロッピーディスクドライブがAドライブの場合)

と表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。



6 後は、画面の指示に従って操作を進めます。

インストールが終了すると、ユーティリティが登録されます。

《ユーティリティの削除方法》
インストールしたユーティリティ(CD Player,フォトCDビューア,CDセレクト)を使用しなくなった場合に行ってください。
① Windowsを起動します。
② [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]から削除してください。

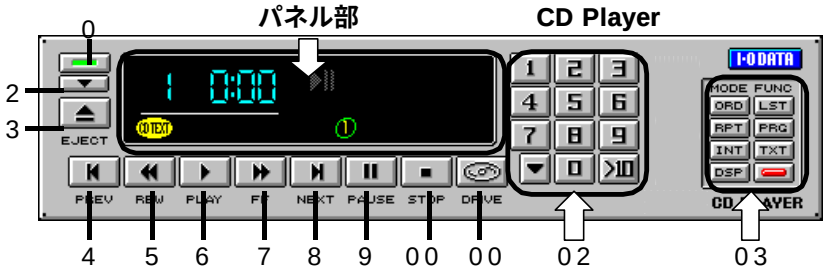
音楽を聴いてみよう（CD Player）

●各部の名称・機能

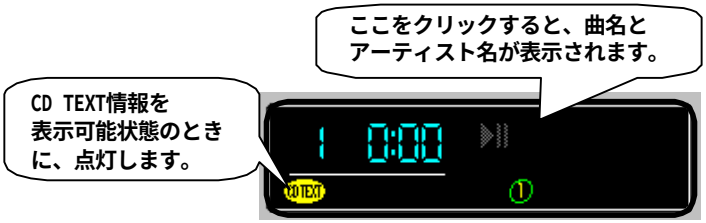
1 **Windowsを起動し、本製品に音楽CDをセットします。**

2 **[スタート]→[プログラム]→[DVDRM-ABシリーズサポートソフト]→[CD Player]をクリックします。**

CD Playerを起動します。



パネル部詳細



番号	名称	機能
1	【終了】	CD Playerを終了します。
2	【アイコン化】	CD Playerをアイコン化します。
3	【イジェクト】	CDを取り出します。
4	【前トラック】	トラック（曲）を戻します。
5	【戻す】	10秒単位で再生ポイントを戻します。ボタンを押している間、操作を実行します。
6	【再生】	再生を開始します。
7	【進める】	10秒単位で再生ポイントを進めます。ボタンを押している間、操作を実行します。
8	【次トラック】	トラック（曲）を進めます。
9	【一時停止】	再生を一時停止したり一時停止を解除します。
10	【停止】	再生を停止します。
11	【CD-ROMドライブ切替】	CD-ROMドライブを切り替えます。
12	～, 【トラック選択】	再生したいトラック番号を指定します。ボタンを押すと、トラック10以降を指定するモードになりますので、さらに２桁の数字を入力してください。ボタンを押すと、トラック番号のリストが表示されますので、直接トラック番号を指定できます。

番号	名称	機能
13	ORD【ランダム再生】	押すたびにランダム再生（パネルに「RANDOM」と表示）と通常再生を切り替えます。 [PRG]ボタンでプログラム設定している場合は、「通常再生」→「プログラム再生」→「ランダム再生」を切り替えます。
	RPT【リピート】	押すたびに1曲リピート(パネルに「REPEAT 1」と表示)、全曲リピート(パネルに「REPEAT ALL」と表示）、リピート無を切り替えます。
	INT【イントロ再生】	押すたびにイントロ再生（パネルに「INTRO」と表示）と通常再生を切り替えます。
	DSP【表示変更】	押すたびに「1曲の経過時間」→「1曲の残り時間」→「全曲の経過時間」→「全曲の残り時間」の順でパネルに表示します。
	LST【リスト作成】	曲名や歌手名を入力でき、独自の「タイトルリスト」を作成できます。また、曲順設定時に曲名が表示されるようになります。
	PRG【曲順設定】	再生したい曲を選んだり、曲順を設定（プログラム）できます。
	TXT【CD TEXT情報参照】	CD TEXT対応音楽CDのCD TEXT情報を参照する機能です。 （【CD TEXT情報表示機能】(77ページ)参照）
	【オーディオキャプチャ機能】	音楽CD上のオーディオトラックをWAVEファイルに変換する機能です。 作成したWAVEファイルは、CD-R/RW装置を使用してオーディオCDを作成する際のソースデータとしても使用できます。【オーディオキャプチャ機能】(73ページ)参照

- 「CD Player」の各機能は、CD-ROMドライブに音楽CDがセットされている場合のみ有効です。実行前に音楽CDがセットされていることをご確認ください。
- 音楽CDを再生する場合は、次の①～③の方法で接続していることをご確認ください。
  - ① 本製品前面のヘッドホン端子にステレオミニプラグ付きヘッドホンまたはヘッドホンステレオ用のスピーカーを接続する。
  - ② 本製品背面のLINE OUT端子を専用ケーブルでサウンドボード(CD IN)やパソコン本体のオーディオコネクタに接続する。
  - ③ 音楽用CDをパソコンに装着したサウンドボード(Creative Media製 SBシリーズなど)から再生する場合は、本製品前面のヘッドホン端子または背面のLINE OUT端子と、サウンドボードのCD IN(またはLINE IN)を市販のステレオケーブル（抵抗なし）で接続してください。
- オンラインヘルプについて

  キーボードでの操作方法や詳しい操作のために、オンラインヘルプを用意しました。「CD Player」画面のボタン以外の箇所をダブルクリックするとタイトルバーが表示されるので、左上のマーク()をクリックしてメニューを表示し、「ヘルプ」を選んでください。

●オーディオキャプチャ機能

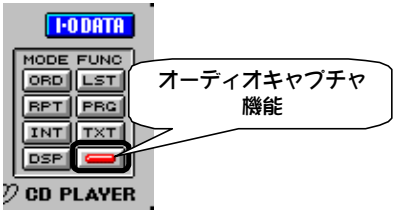
オーディオキャプチャ機能とは、音楽CD(CD-DA)上のオーディオトラックをWAVEファイルに変換する機能です。

・オーディオキャプチャを実行するにあたって、次の注意事項をお守りください。
オーディオキャプチャ機能は著作権を持っているか、もしくは著作権者からコピーの許可を得ている材料を再生する手助けをするように設計されています。自分で著作権を持っていない場合、あるいは著作権者からコピーの許可を得ていない場合は、著作権法に違反することになり、刑罰の対象となる場合があります。
・オーディオキャプチャ機能は、本製品専用の機能です。他のドライブでは使用できません。他のドライブで使用すると動作に支障をきたす場合があります。
・WAVEファイルのフォーマットは以下の通りです。
・サンプリングレート　44100Hz
・サンプルサイズ　16Bit
・チャネル数　2（ステレオ）

操作の流れ

1　Windowsを起動し、本製品に音楽CDをセットします。

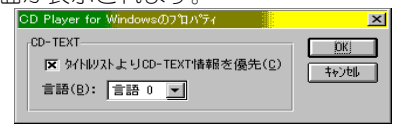
2　ボタンを押してオーディオキャプチャモードに入ります。



3 保存場所を指定します。



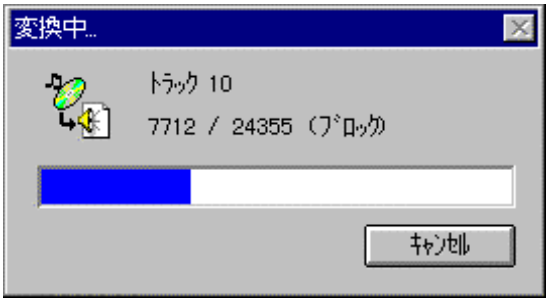
番号	名称	機能
①	ベースファイル名	WAVEファイル名を自動作成する際に、その元になる名前を指定します。 半角英数字5文字以内で指定します。 例) ベースファイル名を‘track’とした場合でトラック1、トラック2を保存する場合、各ファイル名は‘track001’‘track002’となります。 ただし、「② ﾄﾗｯｸﾀｲﾄﾙを使用」をチェックした場合は、トラックタイトルが優先されます。

<table>
<tr><th>番号</th><th>名称</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>②</td><td>ﾄﾗｯｸﾀｲﾄﾙを使用</td><td>「保存するトラック」に表示されているタイトル名をWAVEファイル名にしたい場合にチェックします。
ファイル名は「トラック名.WAV」となります。
例：右図の「1.」をWAVEファイルにした場合は、「ﾄﾗｯｸ1.WAV」となります。
チェックした場合は、「ベースファイル名」は無視されます。
「保存するトラック」に表示されるタイトル名は以下のいずれかに設定できます。
1. 「CD TEXT情報のタイトル名」
2. LSTボタン(71ページ参照)で作成したタイトルリスト
・CD TEXT情報をタイトル名にできるのは、CD TEXT対応音楽CDのみです。
・「CD TEXT情報」および「タイトルリスト」が無い場合は、ベースファイル名がファイル名となります。
【上記1.2.の設定方法】
① 69ページの［CD Player］ウィンドウ上で右クリックし、［プロパティ］をクリックします。
② 以下の画面が表示されます。

チェックボックスをON ➔ CD TEXT情報を優先（初期設定）
チェックボックスのチェックをOFF
➔ タイトルリストを優先
</td></tr>
<tr><td>③</td><td>保存するトラック</td><td>音楽CD上の変換したいトラックを、右図のようにクリックして指定します。
トラックは複数まとめて指定できます。
</td></tr>
</table>

番号	名称	機能
④	ディレクトリ	WAVEファイルの保存先のディレクトリ(フォルダ)を指定します。
⑤	ドライブ	WAVEファイルの保存先のドライブを指定します。
⑥	ドライブの空き容量	現在選択されているドライブの空き容量を表示します。
⑦	必要な空き容量	現在選択されているトラックを保存するのに必要な空き容量の合計を表示します。

4 [OK]ボタンをクリックします。

オーディオトラックの変換を行います。変換中は、棒グラフで進行度を表示します。



・オーディオトラック読み出しの最大速度は、ドライブの仕様により CD-ROMのデータトラックを読み出すときの最大速度よりも低い場合があります。

・オーディオトラックの読み込み時には、ディスク表面の傷・汚れなどに対して非常に敏感になります。傷・汚れなどがあると、変換後のデータ（WAVEファイル）にノイズが入ることがあります。そのため、オーディオトラックの変換には傷のないディスクを使用し、表面の汚れ・埃などは取り除いてから変換を行ってください。

●CD TEXT情報表示機能

CD TEXT情報表示機能とは、CD TEXT対応の音楽CD ※ に記録されている曲名とアーティスト名をウィンドウに表示することができ、また以下の操作でより詳しい情報を表示することができる機能です。(この機能はCD TEXTディスク再生時のみ使用可能です)

※CD TEXT情報の入っているオーディオCDには右のようなマークがついています。



●操作方法

1 開始

TXT ボタンを押すと、「CD TEXT情報の参照」ウィンドウが表示されます。

2 操作

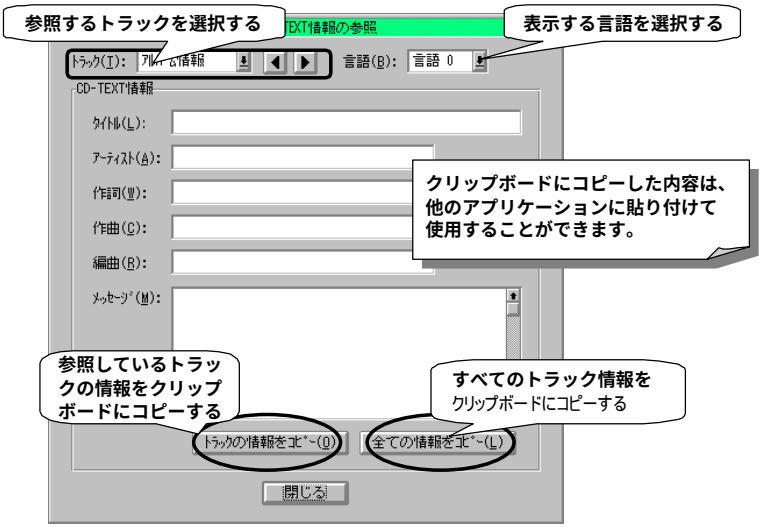


Photo CDを見てみよう（フォトCDビューア）

フォトCDビューアは、Photo CD規格によって記録された Photoを Windows上に表示します。

本製品には、Photo CDは添付されていません。別途ご購入のうえお楽しみください。

1 **Windowsを起動し、Photo CDをセットします。**

2 **[スタート]→[プログラム]→[DVDRM-ABシリーズサポートソフト]→[フォトCDビューア]をクリックします。**

3 **[ファイル]→[フォトアルバムを開く]を選択し、Photo CDをセットしたドライブを選択し、[OK]ボタンをクリックします。**



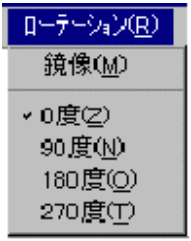
4 **CD-ROM中の Photoが一覧表示されます。**

「Photo」をマウスでクリックするとクリックした「Photo」が拡大表示されます。

拡大表示された「Photo」をダブルクリックすると、元の一覧に戻ります。

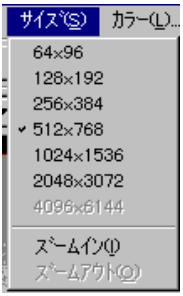
イメージ表示画面

「イメージ表示画面」（Photo CDイメージファイルを表示している状態）のメニュー項目を説明します。



【ローテーション】

現在アクティブなイメージを、各イメージ本来の表示状態から、左方向へ選択したそれぞれの角度だけ回転させて表示する。



【サイズ】

現在アクティブなイメージのサイズを指定する。
（デフォルトは、512×768）
利用可能なサイズの項目のみ選択可能になります。
（各イメージファイルによって異なります。）



【カラー】

左図のダイアログボックスを表示して、イメージの色に関する調整を行う。

フォトアルバム表示画面

フォトアルバムは、Photo CDに収録されている全てのイメージを縮小したもの（サムネイル）を一覧表示し、その中から好きなイメージを選択できます。



《操作方法》

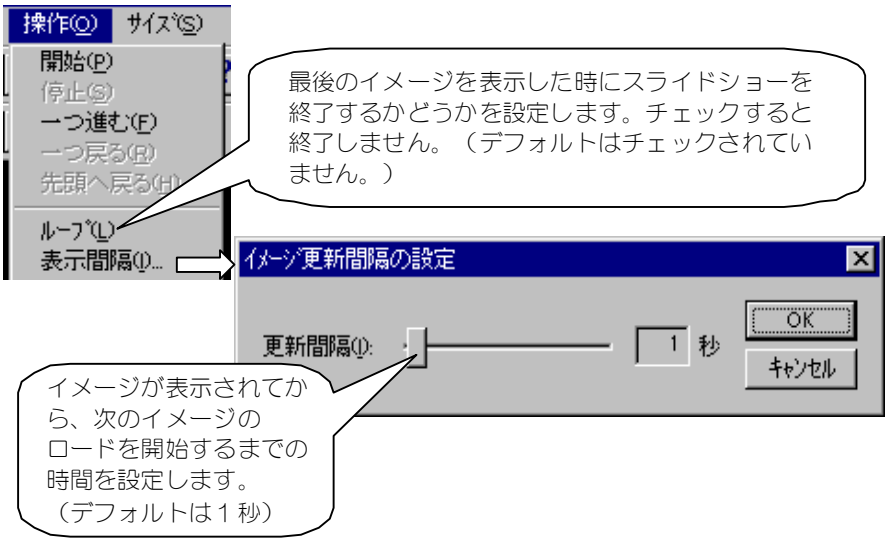
表示したいイメージをカーソルキーで選択し、[Enter]キーを押すか、表示したいイメージ上でダブルクリックすると、そのファイルを開いてイメージ表示ウィンドウに表示します。

スライドショー表示画面

スライドショーは、Photo CDに収録されている全てのイメージを、１つ目から順に自動的に表示します。子ウィンドウ内に表示するモードと、全画面を占有して表示するフルスクリーンモードがあります。（[ファイル]→[スライドショーを開く]で起動します。）

《操作方法》

スライドショーの開始・停止や、表示ポイントを移動させることができます。



タスクバーの他の機能（【サイズ】）は、[イメージ表示画面]を参照してください。

CDセレクトについて

「CDセレクト」は、CD-ROMドライブに入っているCDを自動的に判別して、最適なプレーヤーやビューアを起動するアプリケーションです。
例えば、音楽CDを挿入すると、自動的に音楽CDに関連付けられているアプリケーション(初期設定 PLAYCDEX.EXE)を起動し、音楽を再生させます。

CD-R/RWディスクへの書き込みを行う際には、必ず「CDセレクト」を終了させておいてください。終了しないと書き込みに失敗する場合があります。
《終了方法》
タスクバー上の「CDセレクト」アイコンを右クリックし、「CDセレクトの終了」を選択してください。

●CDセレクトを起動するには

[スタート]→[プログラム]→[DVDRM-ABシリーズサポートソフト]→[CDセレクト]をクリックして起動します。

●CDの確認および監視時間の設定

[CDセレクトのプロパティ]の[設定]タブで、以下の確認・設定を行うことができます。

CDの種類

CDの種類をドライブごとに表示します。ここを見ることによって、各CD-ROMドライブに、今、何のCDが入っているかを確認することができます。

監視時間

スライダーバーによって、監視時間の変更が可能です。



動作環境によっては、CDセレクトを起動している状態で動画(AVI/Video CD等)の再生を行うと、若干コマ落ちが発生する場合があります。そのような場合には、CDセレクトの「監視時間」を長くするか、CDセレクトを終了すると症状を軽減することができます。

●起動アプリケーションを設定するには

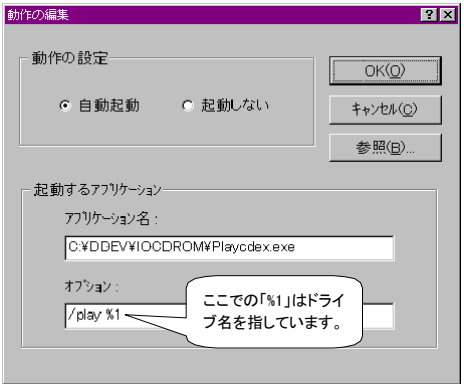
[スタート]→[プログラム]→[DVDRM-ABシリーズサポートソフト]→[CDセレクト]をクリックし、「CDメディアタイプ」を選択します。

起動アプリケーション



各CD(音楽CD, PHOTO CD, VIDEO CD, DVD Video)が挿入されたときに起動するアプリケーションを指定できます。同時にアプリケーションが起動しない設定も可能です。

設定方法



「登録されているタイプ」からCDのタイプを選択し、[編集]ボタンを押すと右の画面が表示されます。
起動したいアプリケーション名を[参照]ボタン等で、フルパスで設定してください。また、オプションを付けて起動したい場合は、オプション項目に入力してください。

「CDセレクト」が、CDメディアごとに起動させるアプリケーションのデフォルト設定は次の通りです。

	アプリケーション名	オプション
(1) 音楽CD	C:¥DDEV¥IOCDROM¥Playcdex.exe	/play %1
(2) PHOTO CD	C:¥DDEV¥IOCDROM¥Pcdv.exe	%1
(3) VIDEO CD	設定なし	設定なし
(4) DVD Video	設定なし	設定なし

●

VIDEO CD再生時にコマ落ちする場合、下記の方法で症状を軽減することができます。「CDセレクトのプロパティ」の「その他」タブで、再生に使用していないドライブを選択し、[停止]ボタンをクリックしてください。次に[更新]または[OK]ボタンをクリックしてください。



- **「CDセレクト」は、自動挿入がONに設定されているCD-ROMドライブしか対象としません。(CD-ROMドライブに対して自動挿入という機能が初期設定されています。これは、音楽CDやデータCDがCD-ROMドライブに挿入された場合、音楽CDならCDプレーヤーが起動して自動的に1曲目から再生され、データCDならAUTORUNが起動するという仕組みのことです。)**
- **DVDビデオやビデオCDを再生するには、添付の「PowerDVD 2000」をご使用ください。**

困った時には

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。

添付の各ソフトウェアのトラブルについては、各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。

状態 ⇒ 一般的なトラブル	参照ページ
本製品がパソコンに認識されない パソコン起動中に止まり、Windowsが起動しない	８７
ドライブ名は表示されるが、ディスクが読めない	８９
書き込みができない	８９
DVDビデオが再生できない	９０
ディスクが取り出せない	９０
音が聞こえない	９１

状態 ⇒ CD Player,フォトCDビューア使用時使用時	参照ページ
弊社「CD Player」を起動した際に、「CD　Audioデバイスはすでに使用されています」とエラーがでる	９３
AVIファイルなどの再生でコマ落ちが起きる	９３
弊社「CD Player」のオーディオキャプチャを実行し、トラックを指定してキャプチャを行おうとすると、「トラックアドレスが取得できません」とエラーがでる	９４
弊社「フォトCDビューア」で画像を表示できない	９４

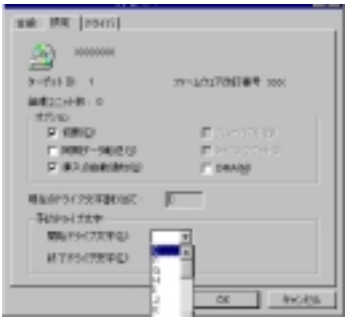
本製品がパソコンに認識されない
パソコン起動中に止まり、Windowsが起動しない

原因１	ジャンパスイッチの設定やケーブルの接続が正しく行われていない。
対処	【第２章】(15ページ)を参照して、再度取り付けを行ってみてください。
原因２	本製品を接続しているIDEコントローラが正しく認識されていない。（[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]→[デバイスマネージャ]タブの[ハードディスクコントローラ]に登録されているIDEコントローラに“!”マーク等が付いている場合があります。）
対処	競合しているリソースを正しく設定してください。（詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。）
原因３	ドライブ番号が正しくない。
対処	[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の[デバイスマネージャ]タブで、[CD-ROM]-[HITACHI DVD-RAM GF-2000]を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックしてください。[設定]タブの[予約ドライブ文字]を確認してください。 ※次ページの「●ドライブ番号の予約」を参照してください。
原因４	PC98-NXシリーズで、セカンダリスレーブで接続している。
対処	プライマリスレーブ、またはセカンダリマスタで接続してください。
原因５	本製品のドライバとその他のドライバが衝突している。
対処	本製品のドライバ以外のDVD(またはUDF)ファイルシステムがインストールされている場合は、アンインストールしてください。方法については、各デバイスドライバの取扱説明書をご覧ください。

原因６	本製品のドライバが正しくインストールされていない。
対処	[スタート]→[プログラム]→[VOB IntstantWrite]→[Uninstall]をクリックし、本製品のドライバをアンインストールした後、24ページを参照し、再度インストールし直してください。

●ドライブ番号の予約

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の[デバイスマネージャ]で[CD-ROM]をダブルクリックします。
②各ドライブを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。
③[設定]タブ→[予約ドライブ文字]でドライブ番号を予約してください。



ドライブ名は表示されるが、ディスクが読めない

原因１	ディスクがフォーマットされていない。
対処	39ページを参照し、フォーマットを行ってください。

原因２	ディスクに欠陥がある。
対処	他のディスクでお試しください。他のディスクでも問題がある場合は、【本製品がパソコンに認識されない】（87ページ）もご覧ください。

書き込みができない

原因1	DVD-RAMディスクがライトプロテクト（書き込み禁止）されている。
対処	36ページをご覧になり、ライトプロテクトを解除してください。

原因２	本製品のドライバとその他のドライバが衝突している。
対処	本製品のドライバ以外のDVD(またはUDF)ファイルシステムがインストールされている場合は、アンインストールしてください。方法については、各デバイスドライバの取扱説明書をご覧ください。

原因３	本製品のドライバが正しくインストールされていない。
対処	[スタート]→[プログラム]→[VOB IntstantWrite]→[Uninstall]をクリックし、本製品のドライバをアンインストールした後、24ページを参照し、再度インストールし直してください。

DVDビデオが再生できない

原因1	DVDプレーヤーがインストールされていない。
対処	本製品添付の「PowerDVD 2000」をインストールするか、弊社製「GV-DVD2/PCI」をご使用ください。

原因２	リージョンコードが２またはALL以外のディスクを使用している。
対処	本製品は、リージョンコード２に設定されていますので、リージョンコード２またはALL以外のディスクは再生できません。

ディスクが取り出せない

原因1	使用中のアプリケーションでイジェクトを禁止している場合があります。
対処	使用中のアプリケーションを終了後にイジェクトボタンを押してください。

原因２	トレイに何かが引っ掛かっている場合があります。
対処	35ページを参照し、取り出してください。

原因３	本製品が故障している場合があります。
対処	弊社修理係にご依頼ください。（101ページ参照）

音が聞こえない

共通事項

原因１	各機器を接続しているケーブルが確実に取り付けられていない場合があります。
対処	スピーカーやその他、各ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。他のCD-ROMドライブにオーディオCDケーブルが接続されている場合は、本製品のヘッドホン端子にヘッドホン等を接続してお聞きください。（詳細は、【２．パソコンに取り付ける】 19ページ以降をご覧ください。）

原因２	ディスクを入れていない。
対処	ディスクを入れてください。

原因３	ディスクが汚れている。
対処	柔らかい布で、内側から外側へ軽くふいてください。

データCDの場合

原因４	音楽データが入っていないディスクを入れている。
対処	音楽データが入っているディスクを使用してください。

原因５	データCD内の音声データファイルを再生するソフトウェアがインストールされていない
対処	データCD内の音声データファイルを再生するソフトウェアをインストールしてください。

音楽CD（トラック）の場合

原因６	音声ボリュームが「0」に設定されている。
対処	接続しているスピーカーのボリュームや本製品のヘッドホンボリュームを調節してください。 ①タスクバー上のスピーカアイコンをダブルクリックします。 ②[オプション]→[プロパティ]をクリックし、「表示するコントロール」で「ライン入力」にチェックを入れます。 ③[OK]ボタンをクリックし、「ライン入力」の[選択]にチェックを入れます。または、ライン入力の[ミュート]のチェックを外します。 ④ボリュームを調節します。 ⑤ウィンドウ右上の[ｘ]ボタンをクリックし、設定ウィンドウを終了します。

原因７	ヘッドホンボリュームの音量が最小になっている場合があります。
対処	ヘッドホンボリュームの音量を上げて(右に回す)みてください。

原因８	ヘッドホン端子にプラグがしっかり接続されていない。
対処	プラグをしっかり接続します。

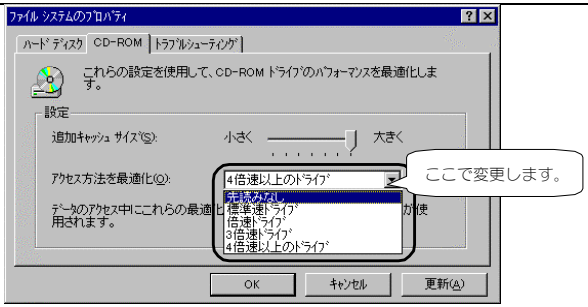
原因９	ヘッドホンやスピーカなどが故障している。
対処	他の機器で使用してみるなどして、ご使用のヘッドフォンが正常か確認してください。

弊社「CD Player」を起動した際に、「CD Audioデバイスはすでに使用されています」とエラーがでる

原因	すでに他のCD Audioプレイヤが起動している場合があります。
対処	他のCD Audioプレイヤを終了し、弊社CD Playerをご使用ください。

AVIファイル等の再生でコマ落ちがおきる

原因１	Windows 98/95の先読みの設定が、本製品と合っていません。
対処	①［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］から［システム］アイコンをダブルクリックします。 ②［システムのプロパティ］画面の［パフォーマンス］→［ファイルシステム］→［CD-ROM］で先読みの設定を変えることで現象を回避できる場合があります。（設定の変更は、［先読みなし］→［3倍速ドライブ］→［倍速ドライブ］→［標準速ドライブ］の順に行ってみてください。）



原因２	CDセレクトが起動しています。CDセレクトは、一定間隔でCDが挿入されていることを監視しています。そのため、AVIファイルの再生に負担をかける場合があります。
対処	CDセレクトの監視時間を長くするか、CDセレクトを終了させてください。（82ページ参照）

弊社「CD Player」のオーディオキャプチャを実行し、トラックを指定してキャプチャを行おうとすると、「トラックアドレスが取得できません」とエラーがでる

原因１	キャプチャを行おうとしているディスクが汚れている。
対処	ディスクのクリーニングを行ってみてください。

原因２	WINASPI.DLLファイルがインストールされていない。
対処	WINASPI.DLLは通常Windows 98/95をインストールした際に標準で以下のフォルダに組み込まれます。 「Windows 98/95がインストールされているフォルダのSYSTEMフォルダ内」無い場合はWindows 98/95を再度インストールしてください。

弊社「フォトCDビューア」で画像を表示できない

原因	メモリ不足です。
対処	スワップファイルを設定して、使用可能メモリ容量を増やしてください。

仕様

本製品の仕様です。

インターフェイス仕様	E-IDE（ATAPI）
トレイ方式	オートローディング
データバッファサイズ	2MB
最大データ転送速度（理論値）	33.3MB/Sec（Ultra DMAモード2）
書き込み/読み出し速度（最大）	1.38MB/Sec（DVD-RAM 2.6GB） 2.77MB/Sec（DVD-RAM 4.7GB） 8.31MB/Sec（DVD-ROM）（読み出しのみ） 3.6MB/Sec（CD-ROM）（読み出しのみ）
平均アクセスタイム	210msec（DVD-RAM） 190msec（DVD-ROM） 150msec（CD-ROM）
対応フォーマット	リード/ライト：DVD-RAM （両面9.4GB/片面4.7GB,両面5.2GB/片面2.6GB） リードのみ：DVD-ROM,DVD-Video, DVD-R(3.95GB Write At Onceのみ), CD-ROM(Mode1),CD-ROM XA(Mode2)、 CD-R/RW,音楽CD,Photo CD,CD Extra, CD-I,CD TEXT,VideoCD
アナログライン出力	0.7Vrms（47KΩ）
ヘッドホン出力	0.5Vrms（32Ω）
電源仕様	DC +5V±5% DC +12V±10%
最大消費電流	+5V…1.1A +12V…1.9A
使用温度範囲(℃)	＋5℃～＋35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
使用湿度範囲(%)	20%～80%（結露なきこと）
サイズ	146.0(W)×201.0(D)×41.3(H)mm （フロントパネル除く）
質量	約1.2Kg

VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SE
PhotoImpact 5.0 BE
Photo Explorer 5.0
のお問い合わせ

「VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SE 」
「PhotoImpact 5.0 BE」
「Photo Explorer 5.0」
のお問い合わせは下記まで

●お問い合わせ先
ユーリードシステムズ株式会社 ユーザーサポート係
TEL:03-5941-5662
受付時間:平日 10:00～12:00 13:00～17:00
ホームページ: http://www.ulead.co.jp

ユーリードシステムズ㈱製「VideoStudio 4.0 MPEG2(S) SE」「PhotoImpact 5.0 BE」「Photo Explorer 5.0」のバージョンアップサービスは弊社では行っておりません。
バージョンアップをご希望される場合はユーザー登録を行った後、ユーリードシステムズ㈱にご確認ください。

PowerDVD 2000のお問い合わせ

PowerDVD 2000には、[iPower!の製品情報ページ]、[readme]、[ヘルプファイル]などが用意されております。よくあるQ＆Aなど、役に立つ最新のサポート情報をご覧いただけますので、是非ご一読ください。また、お客様のご質問により迅速に対応する為、インターネットホームページ上にユーザーサポートページを設けております。ご不明な点につきましては、下記ユーザーサポートページをご覧ください。また、サポートページ掲載事例以外の現象などが発生した場合、e-mailをご利用いただいてのサポートを行なっておりますので、下記ユーザーサポートまでお問い合わせいただけます様お願いいたします。

ユーザーサポートページURL　http://www.cli.co.jp/support/
ユーザーサポート　support@cli.co.jp

インターネット環境をお持ちでない方は、下記の必要事項をご記入、もしくはご確認いただき、CyberLink社までFAXまたはTELにてお問い合わせください。

FAX：03-3662-8009
TEL：03-3662-8076

▼必要事項

1. 記入日
2. 氏名（ユーザー登録名）
3. TEL番号
4. FAX番号
5. 住所
6. 製品名およびソフトウェアのバージョン
7. CD-Key番号（CDケースに付いている、英文字2文字+14桁からなる番号をご記入下さい）
8. お使いのＰＣ環境
   - ・OS環境（メーカー名、製品名およびバージョン）
   - ・パソコン（CPU（例：Pentium Ⅲ 500）およびメモリ容量）
   - ・ハードウェア構成（メーカー名、製品名）
   - ・DVDドライブ（例：I-O DATA製、DVDRM-AB9.4G）

サポートセンターへのお問い合わせ

弊社サポートセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

■

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
6. 現在の状態(「マイコンピュータにCD-ROMアイコンが表示されない」などの内容)。

■

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	**http://www.iodata.co.jp/support/** 「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを使用してE-mailをお送りください。
@nifty	ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)サポート会議室

■

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
住所
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「DVDRM-AB9.4G」係 宛

■ **FAX**

電話番号	本社	076-260-3688
	東京	03-3254-1095
電話受け付け時間		9:30～19:00 月～金曜日(祝祭日を除く)
FAX番号	本社	076-260-3360
	東京	03-3254-9055

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、サービス窓口からの郵送はユーザー登録された方のみが対象です。

■

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	**http://www.iodata.co.jp/** →「サポート・ライブラリ」
@nifty	ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)のﾗｲﾌﾞﾗﾘ5(LIB5)

■

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「DVDRM-AB9.4G」　サービス窓口　宛

電話番号　076-260-3663

受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

保証について

■保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内致しますので、修理するか否かをご検討の上、往復ハガキにご記入いただきご返送ください。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。

・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

・本製品のリージョンコード（地域コード）を変更した場合。
（リージョンコード2,ALL以外のDVDビデオを使用する場合）

修理について

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
住所　株式会社アイ・オー・データ機器
「DVDRM-AB9.4G」　修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせについて

受付窓口	「DVDRM-AB9.4G」サービス窓口
電話番号	金沢　**076-260-3663**
受付時間	9:30～12:00　13:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。